




Dell Latitude E5430

オーナーズマニュアル

規制モデル： P27G
規制タイプ： P27G001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™、Venue™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および / またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および / またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、vMotion®、vCenter®、vCenter SRM™ および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

目次

1 コンピューター内部の作業	7
コンピュータ内部の作業を始める前に.....	7
コンピュータの電源を切る.....	9
コンピュータ内部の作業を終えた後に.....	9
2 コンポーネントの取り外しと取り付け	11
奨励するツール.....	11
SD カードの取り外し.....	11
SD カードの取り付け.....	11
ExpressCard の取り外し.....	11
ExpressCard の取り付け.....	12
バッテリーの取り外し.....	12
バッテリーの取り付け.....	13
アクセスパネルの取り外し.....	13
アクセスパネルの取り付け.....	14
SIM カードの取り外し.....	14
SIM カードの取り付け.....	14
ディスプレイベゼルの取り外し.....	14
ディスプレイベゼルの取り付け.....	15
カメラの取り外し.....	15
カメラの取り付け.....	16
ディスプレイパネルの取り外し.....	16
ディスプレイパネルの取り付け.....	18
キーボードトリムの取り外し.....	18
キーボードトリムの取り付け.....	20
キーボードの取り外し.....	20
キーボードの取り付け.....	22
オプティカルドライブの取り外し.....	23
オプティカルドライブの取り付け.....	24
ハードドライブの取り外し.....	25
ハードドライブの取り付け.....	26
WLAN カードの取り外し.....	27
WLAN カードの取り付け.....	27
メモリモジュールの取り外し.....	27
メモリモジュールの取り付け.....	28
右ベースパネルの取り外し.....	28
右ベースパネルの取り付け.....	29

サーマルモジュールの取り外し.....	29
サーマルモジュールの取り付け.....	30
プロセッサの取り外し.....	30
プロセッサの取り付け.....	30
パームレストの取り外し.....	31
パームレストの取り付け.....	33
ExpressCard リーダーケースの取り外し.....	33
ExpressCard リーダーケースの取り付け.....	34
Bluetooth モジュールの取り外し.....	34
Bluetooth モジュールの取り付け.....	35
オーディオボードの取り外し.....	35
オーディオボードの取り付け.....	36
ディスプレイアセンブリの取り外し.....	36
ディスプレイアセンブリの取り付け.....	38
右サポートフレームの取り外し.....	39
右サポートフレームの取り付け.....	40
モデムカードの取り外し.....	41
モデムカードの取り付け.....	41
左サポートフレームの取り外し.....	42
左サポートフレームの取り付け.....	43
システム基板の取り外し.....	44
システム基板の取り付け.....	46
コイン型バッテリーの取り外し.....	47
コイン型バッテリーの取り付け.....	48
入力 / 出力 (I/O) ボードの取り外し.....	48
入力 / 出力 (I/O) ボードの取り付け.....	49
電源コネクタの取り外し.....	50
電源コネクタの取り付け.....	51
システムファンの取り外し.....	52
システムファンの取り付け.....	53
ネットワークコネクタの取り外し.....	54
ネットワークコネクタの取り付け.....	54
スピーカーの取り外し.....	55
スピーカーの取り付け.....	56
3 仕様.....	59
仕様.....	59
4 追加情報.....	65
ドッキングポートについて.....	65
5 セットアップユーティリティ.....	67


概要	67
セットアップユーティリティの起動.....	67
セットアップユーティリティのオプション.....	67
6 診断.....	77
Diagnostics (診断)	77
7 デルへのお問い合わせ.....	79


コンピューター内部の作業


コンピュータ内部の作業を始める前に


コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によってのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。


 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に扱ってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。




 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。





1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。
3. コンピュータがオプションのメディアベースまたはバッテリースライスなど、ドッキングデバイス（ドック）に接続されている場合、ドックから外します。

 **注意:** ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. ディスプレイを閉じ、平らな作業台の上でコンピュータを裏返します。
 -  **メモ:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。
7. メインバッテリーを取り外します。
8. コンピュータを表向きにします。
9. ディスプレイを開きます。
10. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
 -  **注意:** 感電防止のため、ディスプレイを開く前に、必ずコンセントからコンピュータの電源プラグを抜いてください。
 -  **注意:** コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。
11. 適切なスロットから、取り付けられている ExpressCard または Smart Card を取り外します。

コンピューターの電源を切る

△ **注意:** データの損失を防ぐため、コンピューターの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - In Windows 8:
 - * タッチパネル入力を有効にするデバイスの用法:
 - a. 画面の右端からスワイプし、チャームメニューを開き、**Settings**(設定)を選択します。
 - b.  を選択し、続いて**シャットダウン**を選択します。
 - * マウスの用法:
 - a. 画面の右上隅をポイントし、**Settings** (設定) をクリックします。
 - b. ライセンス情報を展開または折りたたむには、、**Shut down** (シャットダウン) を選択します。
 - Windows 7 の場合 :
 1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。
 2. **Shut Down** (シャットダウン) をクリックします。または
 1. **スタート** をクリックします。  をクリックします。
 2. 次に、以下に示す **Start** (スタート) メニューの右下の矢印をクリックし、**Shut Down** (シャットダウン) をクリックします。
2. コンピューターと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピューターとデバイスの電源が自動的に切れない場合は、電源ボタンを約 4 秒間押し続けて電源を切ります。

コンピューター内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピューターの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどを接続したか確認してください。

△ **注意:** コンピュータを損傷しないために、この特定の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーのみを使用します。他の Dell コンピュータのために設計されたバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケーター、バッテリースライス、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピューターに接続します。

△ **注意:** ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピューターに差し込みます。
3. バッテリーを取り付けます。

4. コンピューター、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
5. コンピューターの電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピューターからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

奨励するツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバー
- #0 プラスドライバー
- #1 プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

SD カードの取り外し

1. 「コンピューター内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. SD カードを押し込んでアンロックします。
3. SD カードをコンピューターから引き出します。

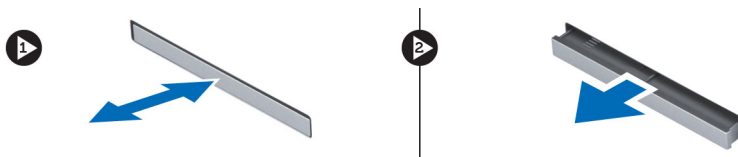


SD カードの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、SD カードをコンパートメントに押し込みます。
2. 「コンピューター内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ExpressCard の取り外し

1. 「コンピューターの作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次の手順を実行します。
 - a) ExpressCard カードを押し込んで、コンピューターから解除します [1]。
 - b) ExpressCard をコンピューターから引き出します [2]。



ExpressCard の取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、ExpressCard をスロットに差し込みます。
2. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

バッテリーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーリリースラッチをアンロック位置にスライドさせます。



3. バッテリーをコンピュータから取り外します。

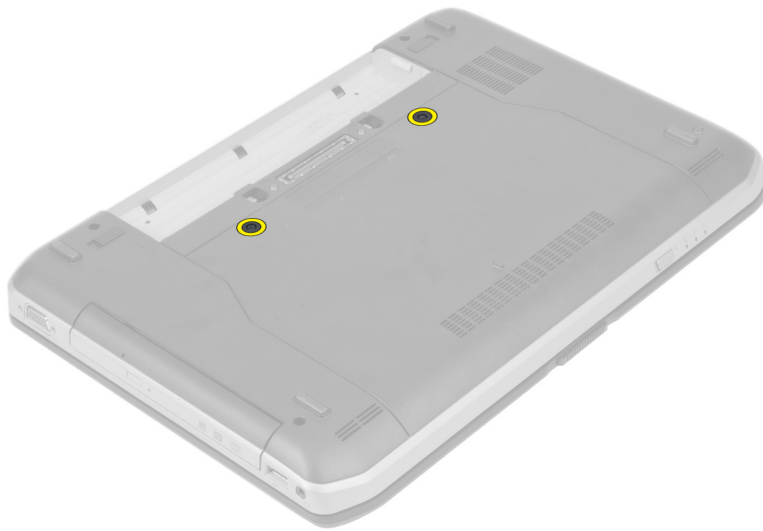


バッテリーの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをスロットに挿入します。
2. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

アクセスパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. アクセスパネルを固定しているネジを外します。



4. アクセスパネルをシステムの前方に引き出し、コンピュータから取り外します。

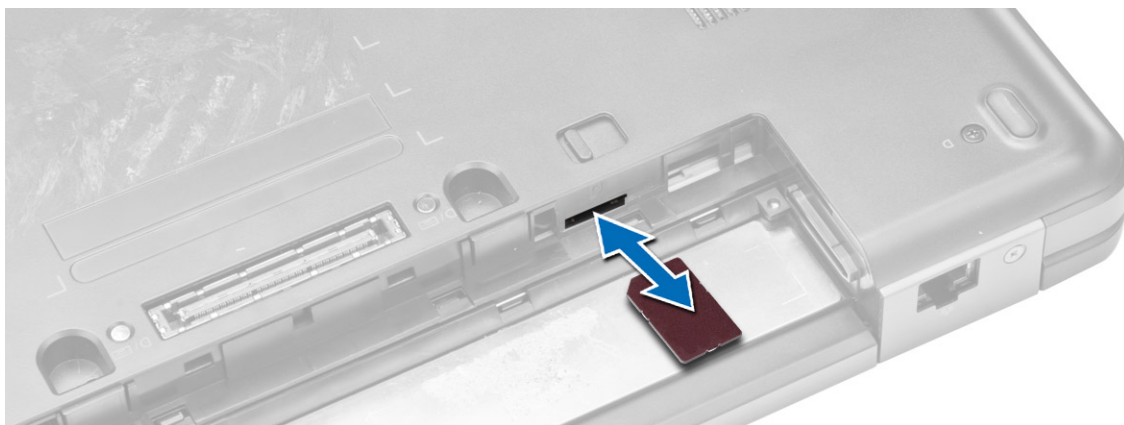



アクセスポネルの取り付け

1. 所定の位置にカチッと収まるまで、ベースカバーをスロットに差し込みます。
2. アクセスポネルをコンピュータに固定するネジを取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

SIM カードの取り外し

1. 「コンピュータの作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. バッテリーウォールにある SIM カードを押してロックを解除します。
4. SIM カードをコンピュータから引き出します。



 **メモ:** コンピュータの SIM スロットはマイクロ SIM のみサポートしています。

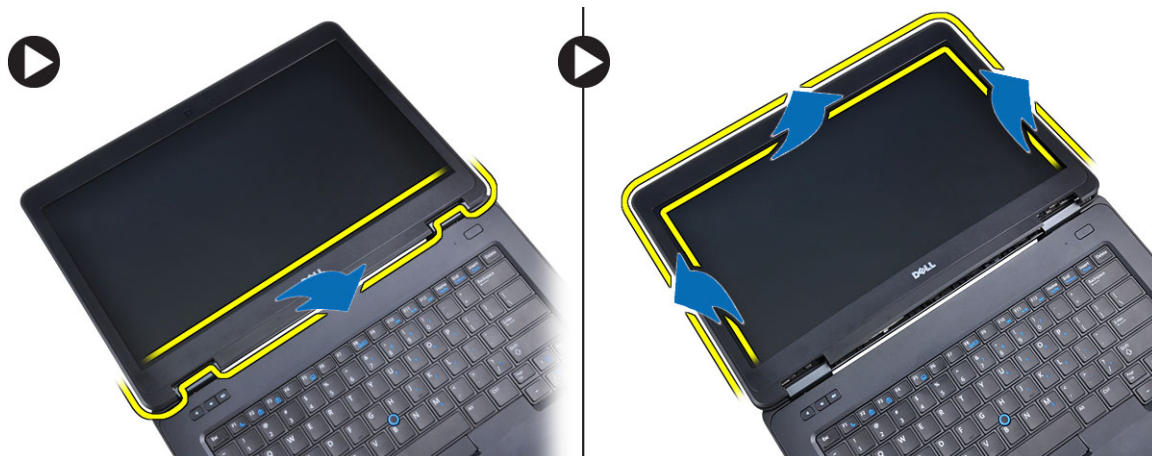
SIM カードの取り付け

1. SIM カードをスロットに差し込みます。
2. バッテリーを取り付けます。
3. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイベゼルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。

3. 次の手順を実行します。
 - a) ディスプレイベゼルの下端を持ち上げます。
 - b) ディスプレイベゼルの側面と上端も同じようにして持ち上げます。



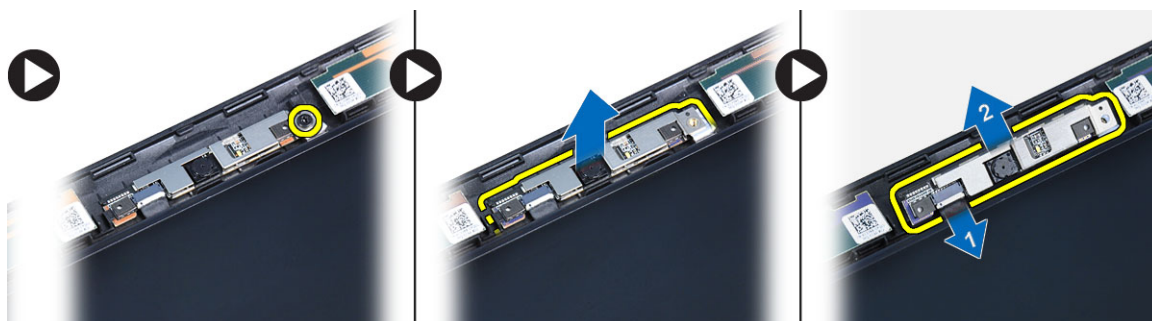
4. ディスプレイベゼルをコンピュータから取り外します。

ディスプレイベゼルの取り付け

1. ディスプレイベゼルをディスプレイアセンブリに載せます。
2. ディスプレイベゼルの上端を最初に押し込み、ディスプレイアセンブリに完全にはまるまでベゼル全体を押し込みます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

カメラの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) ディスプレイベゼル
3. 次の手順を実行します。
 - a) カメラ/マイクモジュールを固定しているネジを外します。
 - b) カメラケーブルを外します。
 - c) カメラ/マイクモジュールを持ち上げて取り外します。

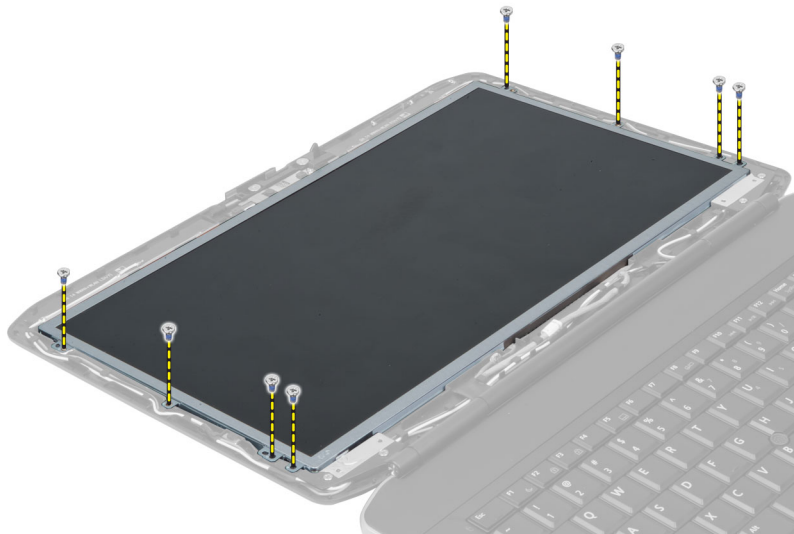


カメラの取り付け

1. カメラとマイクモジュールを所定の位置に置きます。
2. カメラケーブルを接続します。
3. ネジを締めてカメラとマイクモジュールを固定します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ディスプレイベゼル
 - b) バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ディスプレイパネルの取り外し

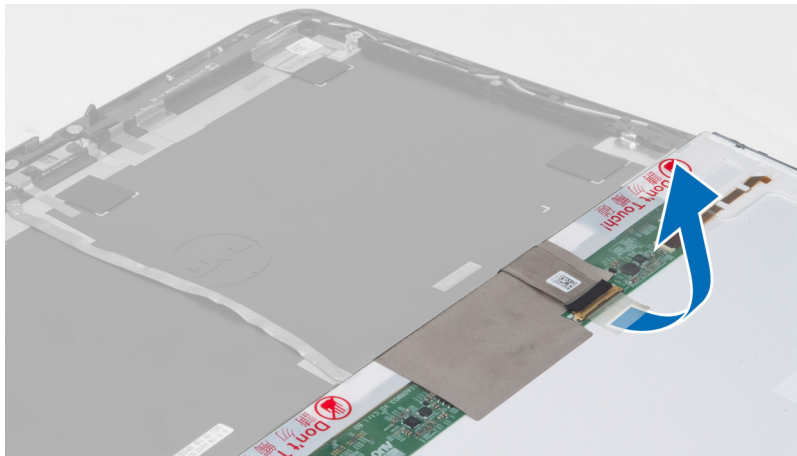
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) ディスプレイベゼル
3. ディスプレイパネルを固定しているネジを外します。



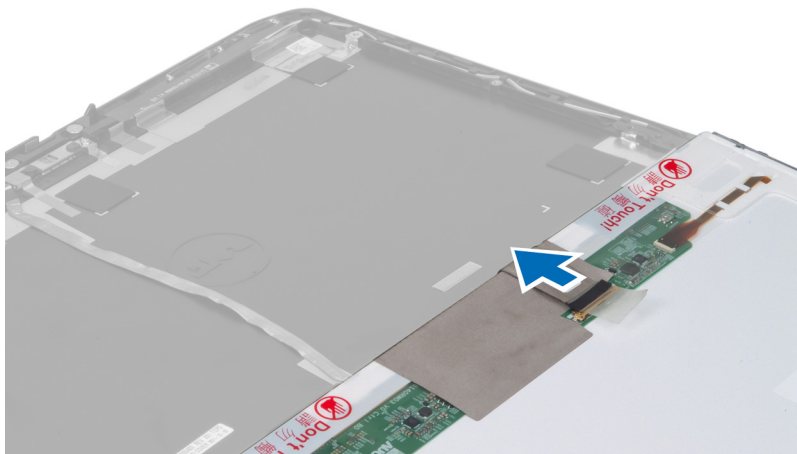
4. ディスプレイパネルを裏返します。



5. 透明シートテープを剥し、低電圧差動信号（LVDS）ケーブルをディスプレイパネルの背面から外します。



6. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリから取り外します。

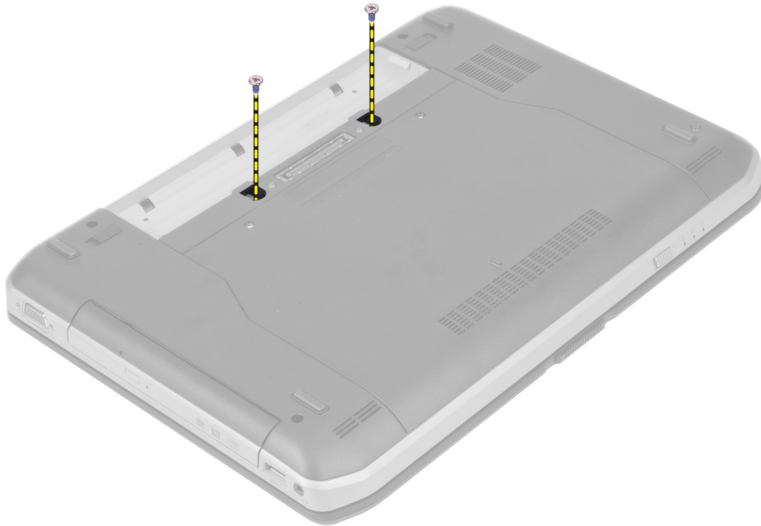


ディスプレイパネルの取り付け

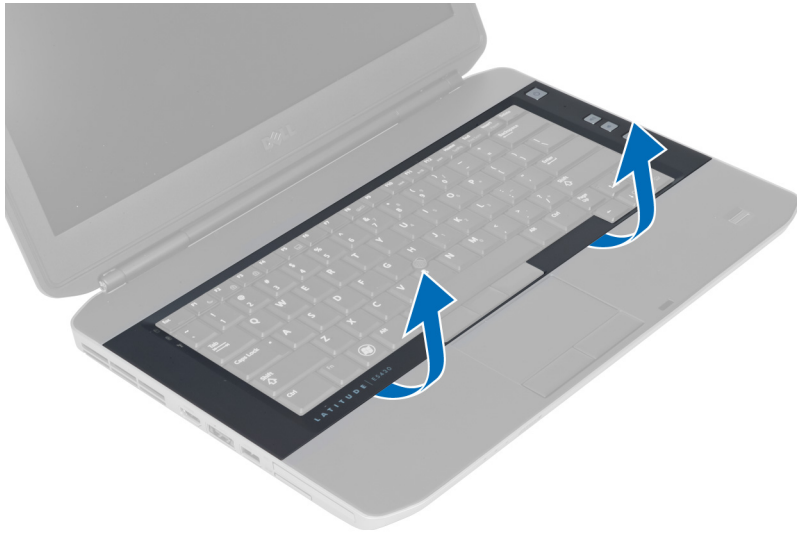
1. ディスプレイパネルをディスプレイアセンブリにセットします。
2. ディスプレイパネルを元の位置に合わせます。
3. 低電圧差動信号 (LVDS) ケーブルをディスプレイパネルに接続し、テープを取り付けます。
4. ディスプレイパネルを裏返し、ネジを締めてディスプレイパネルを固定します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ディスプレイベゼル
 - b) バッテリー
6. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードトリムの取り外し

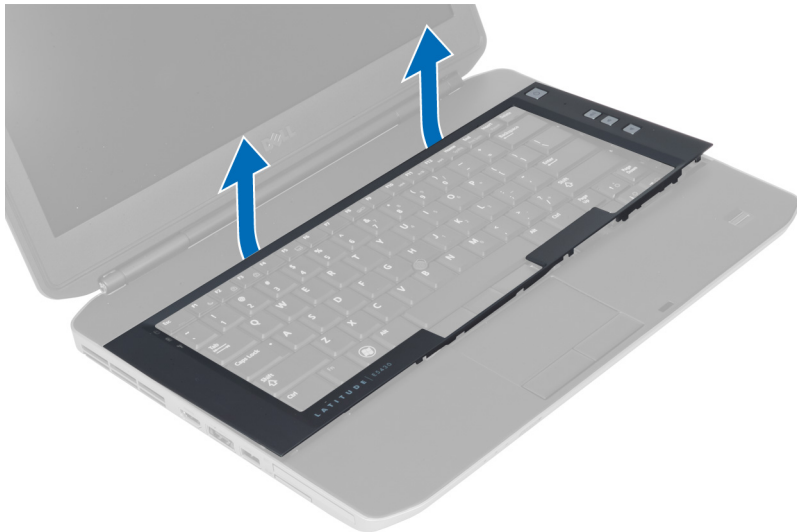
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. バッテリーを取り外します。
3. コンピュータ背面のネジを外します。



4. キーボードトリムを下端から持ち上げて開きます。



5. キーボードトリムの側面と上端も同じようにして持ち上げます。
6. キーボードトリムを持ち上げてコンピュータから取り外します。



キーボードトリムの取り付け

1. キーボードトリムを所定の位置に合わせます。
2. カチッと所定の位置に収まるまで、キーボードトリムの両端を押し込みます。

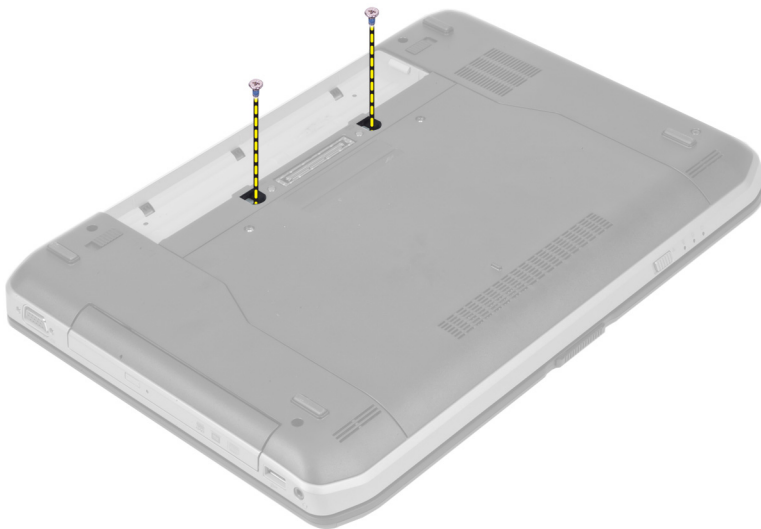


3. バッテリーを取り付けます。
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

キーボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) キーボードトリム

3. コンピュータ背面のネジを外します。



4. キーボードを固定しているネジを外します。



5. クリップを持ち上げてキーボードケーブルの固定を解除し、コンピュータから外します。

6. キーボードを裏返します。



7. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードの後部に固定している粘着テープを剥し、コンピュータから外します。



8. キーボードをコンピュータから取り外します。

キーボードの取り付け

1. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードに取り付けます。
2. キーボードの平フレックスケーブルをキーボードに固定する粘着テープを貼ります。
3. すべての金属製タブが所定の位置に収まるまで、キーボードを所定のコンパートメントに挿入します。
4. キーボードケーブルクリップを締めます。
5. キーボードの左右を押し下げて、すべての留め具がコンピュータと完全に噛み合っていることを確認します。
6. キーボードをパームレストに固定するネジを取り付けます。

7. コンピュータ背面のネジを取り付けます。
8. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) キーボードトリム
 - b) バッテリー
9. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

オプティカルドライブの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) アクセスパネル
3. オプティカルドライブを固定しているネジを外します。



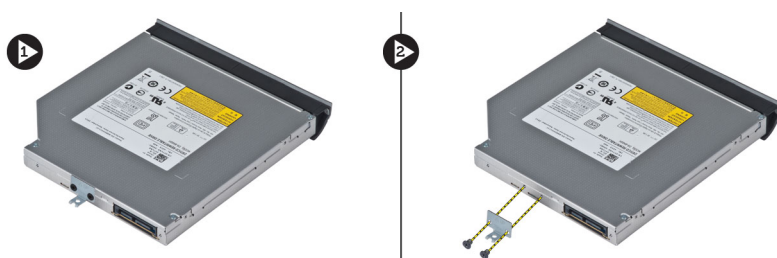
4. スクリュータブを押してコンピュータから外し、オプティカルドライブをドライブベイから外します。



5. オプティカルドライブをコンピュータから取り外します。



6. オプティカルドライブブラケットを固定しているネジを外します。
7. オプティカルドライブブラケットを取り外します。



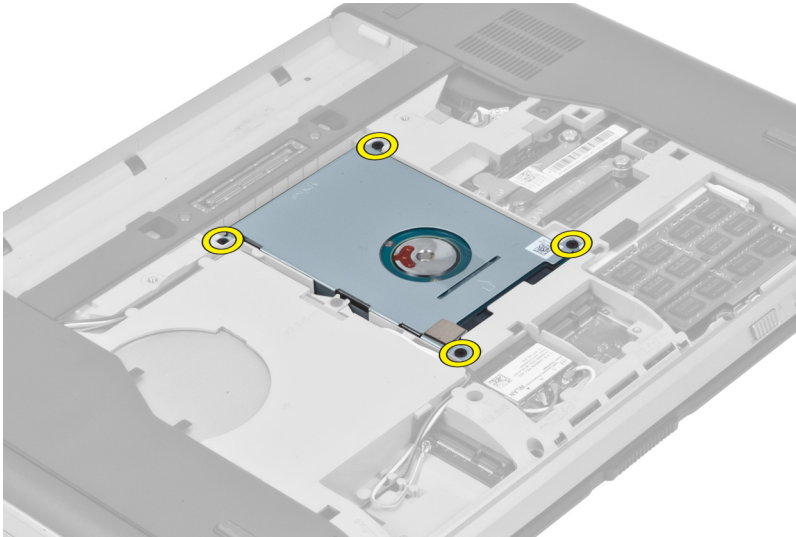
8. オプティカルドライブベゼルのタブを外して、オプティカルドライブベゼルのオプティカルドライブから離します。
9. オプティカルドライブベゼルを取り外します。

オプティカルドライブの取り付け

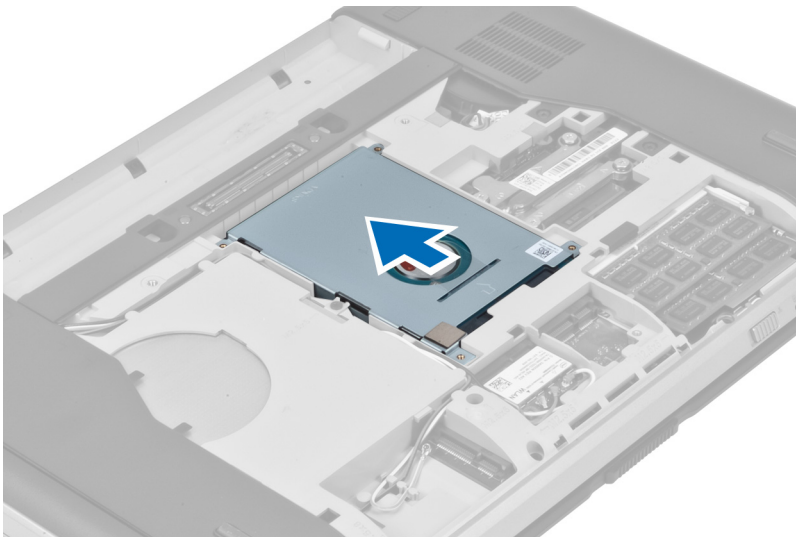
1. オプティカルドライブベゼルのタブをはめ込み、オプティカルドライブに取り付けます。
2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。
3. オプティカルドライブブラケットを固定するネジを締めます。
4. オプティカルドライブをコンピュータに挿入します。
5. ネジを締めて、オプティカルドライブを所定の位置に固定します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ベースカバー
 - b) バッテリー
7. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

ハードドライブの取り外し

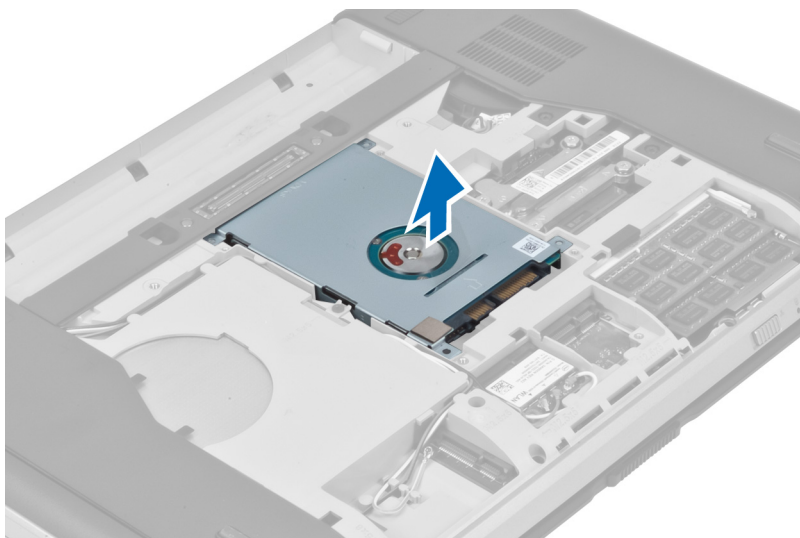
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) アクセスパネル
3. ハードドライブブラケットを固定しているネジを外します。



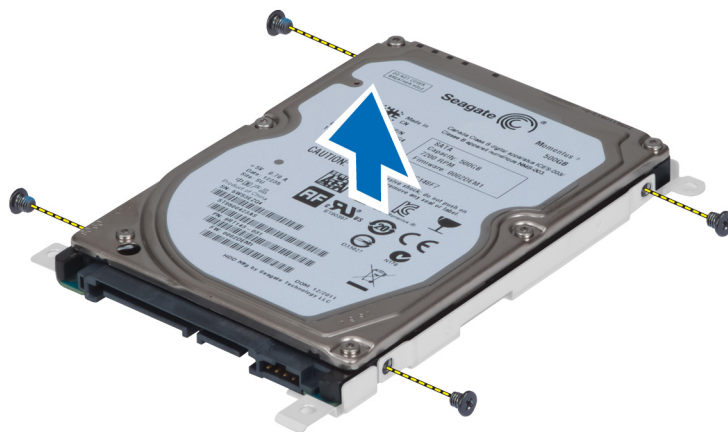
4. タブを持ってハードドライブブラケットを引き、ハードドライブをコネクタから外します。



5. ハードドライブをコンピュータから取り外します。



6. ハードドライブブラケットを固定しているネジを外します。



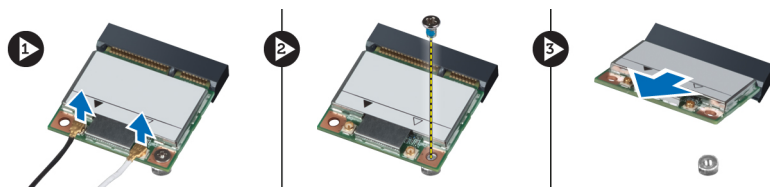
7. ハードドライブブラケットをハードドライブから取り外します。

ハードドライブの取り付け

1. ハードドライブをハードドライブブラケットにはめ込みます。
2. ハードドライブブラケットを固定するネジを締めます。
3. ハードドライブをコンピュータに取り付けます。
4. ハードドライブブラケットを所定の位置に固定するネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) アクセスパネル
 - b) バッテリー
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

WLAN カードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) ベースカバー
3. 次の手順を実行します。
 - a) アンテナケーブルを WLAN カードから外します。
 - b) WLAN カードをコンピュータに固定しているネジを外します。
 - c) WLAN カードをシステム基板上のスロットから取り外します。

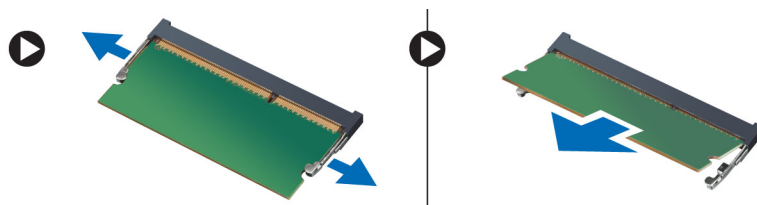


WLAN カードの取り付け

1. WLAN カードをシステム基板の所定のコネクタに差し込みます。
2. WLAN カードに記された対応コネクタにアンテナケーブルを接続します。
3. WLAN カードをコンピュータに固定するネジを締めます。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ベースカバー
 - b) バッテリー
5. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

メモリモジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) ベースカバー
3. メモリモジュールが持ち上がるまで、固定クリップを引き出します。
4. メモリモジュールを持ち上げてコンピュータから取り出します。

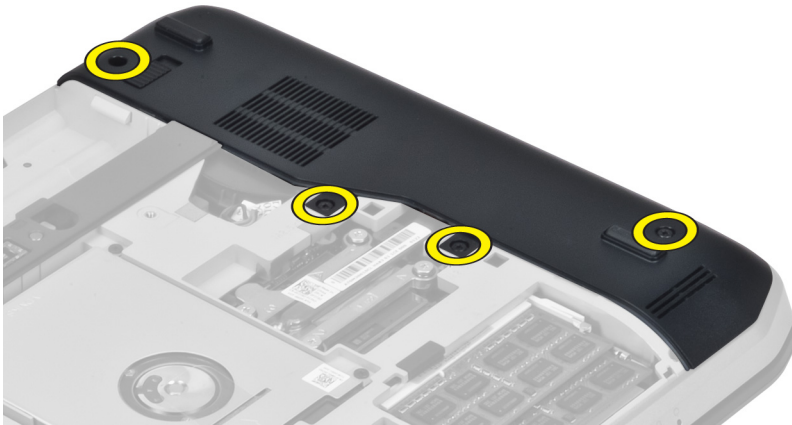


メモリモジュールの取り付け

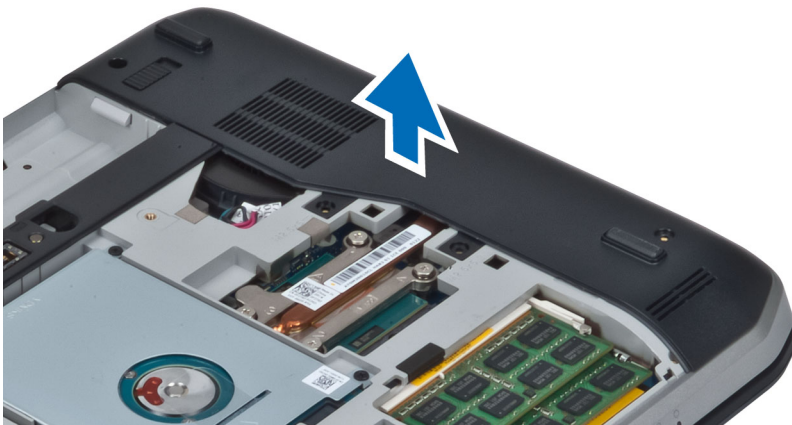
1. メモリをメモリソケットに挿入します。
2. クリップを押して、メモリモジュールをシステム基板に固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ベースカバー
 - b) バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の手順に従います。

右ベースパネルの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) アクセスパネル
3. 右ベースパネルを固定しているネジを外します。



4. 右ベースパネルをコンピュータから取り外します。

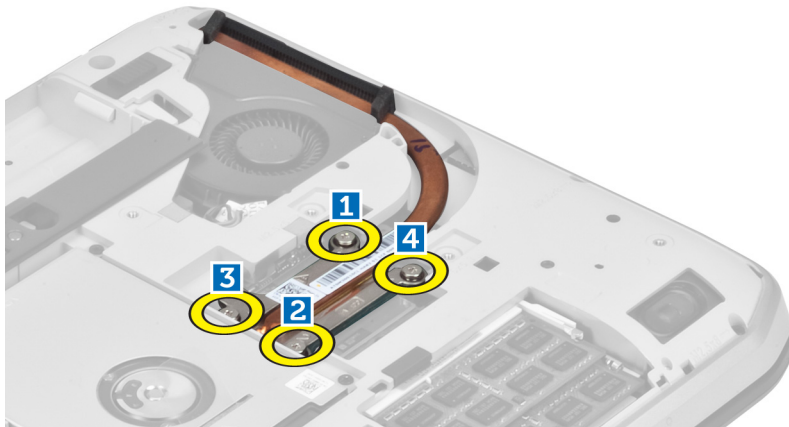


右ベースパネルの取り付け

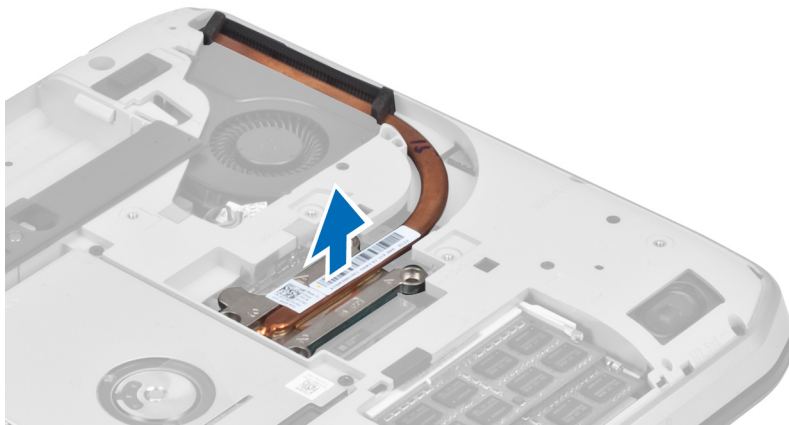
1. 右ベースパネルをコンピュータの上に置きます。
2. 右ベースパネルをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) アクセスパネル
 - b) バッテリー
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

サーマルモジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) 右ベースパネル
3. サーマルモジュールを固定しているネジを外します。



4. サーマルモジュールを持ち上げてコンピュータから取り出します。

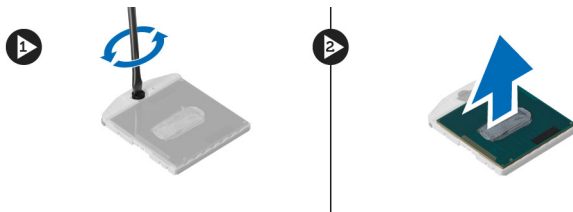


サーマルモジュールの取り付け

1. サーマルモジュールを所定のコンパートメント内に置きます。
2. サーマルモジュールをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 右ベースパネル
 - b) アクセスパネル
 - c) バッテリー
 - d) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

プロセッサの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) 右ベースパネル
 - e) サーマルモジュール
3. プロセッサカムロックを反時計方向に回してロックを解除します。プロセッサを持ち上げてコンピュータから取り出します。

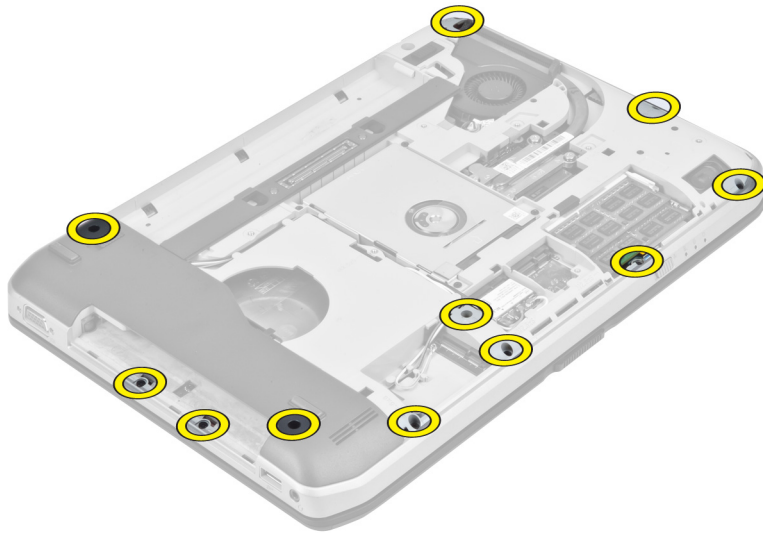


プロセッサの取り付け

1. プロセッサをコンピュータのソケットに載せます。
2. プロセッサカムロックを時計方向に回してプロセッサを固定します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) サーマルモジュール
 - b) アクセスパネル
 - c) 右ベースパネル
 - d) バッテリー
 - e) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

パームレストの取り外し

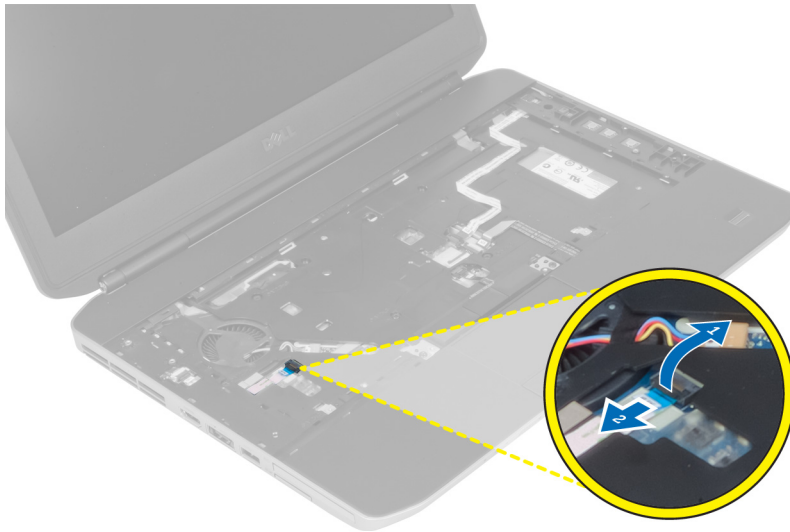
1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) キーボードトリム
 - e) キーボード
 - f) オプティカルドライブ
 - g) 右ベースパネル
3. コンピュータ底部のネジを外します。



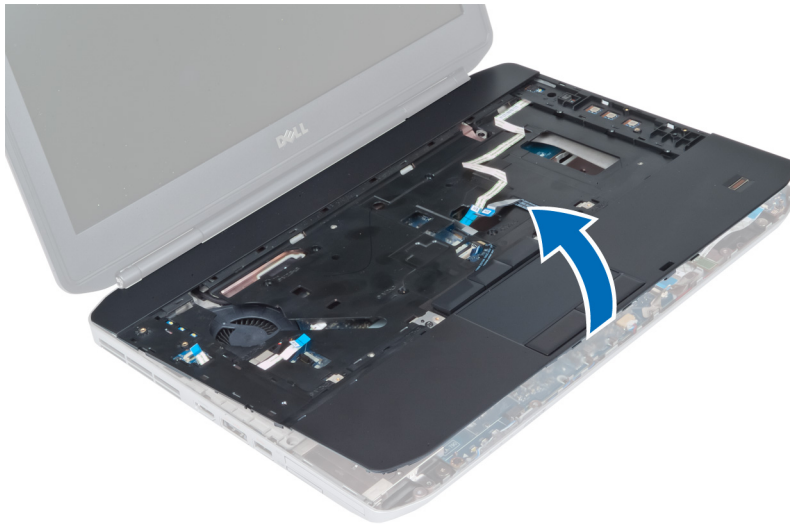
4. パームレストをコンピュータに固定しているネジを外します。



5. LED ボードの平フレックスケーブルを外します。



6. メディアボタンの平フレックスケーブルを外します。
7. タッチパッドの平フレックスケーブルを外します。
8. 指紋スキャナーの平フレックスケーブルを外します。
9. 電源ボタンの平フレックスケーブルを外します。
10. パームレストアセンブリの右端を持ち上げます。
11. パームレストアセンブリの左端のタブを外し、パームレストをコンピュータから取り外します。

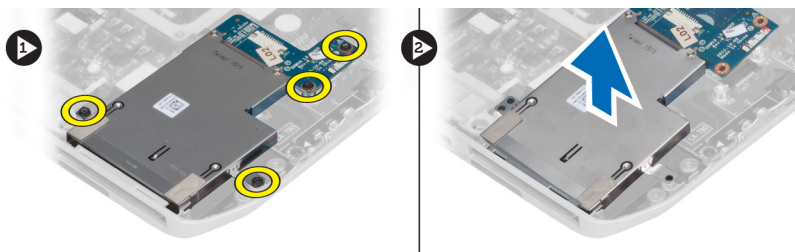


パームレストの取り付け

1. パームレストアセンブリをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. システム基板に以下のケーブルを接続します。
 - a) 電源ボタンの平フレックスケーブル
 - b) 指紋スキャナーの平フレックスケーブル
 - c) タッチパッドの平フレックスケーブル
 - d) メディアボタンの平フレックスケーブル
 - e) LED ボードの平フレックスケーブル
3. パームレストのネジを締めます。
4. コンピュータ底部のネジを締めます。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 右ベースパネル
 - b) オプティカルドライブ
 - c) キーボード
 - d) キーボードトリム
 - e) アクセスパネル
 - f) バッテリー
 - g) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ExpressCard リーダーケースの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) キーボードトリム
 - e) キーボード
 - f) オプティカルドライブ
 - g) 右ベースパネル
 - h) パームレスト
3. ExpressCard リーダーケースを固定しているネジを外します。
4. ExpressCard リーダーケースをコンピュータから取り外します。

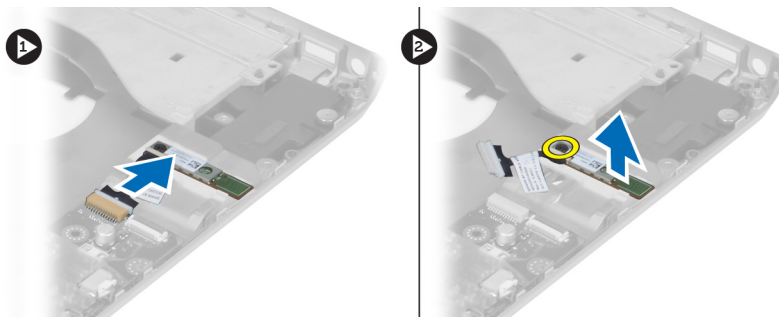


ExpressCard リーダーケースの取り付け

1. ExpressCard リーダーケースをコンピュータの元の位置に合わせ、そこにはめ込みます。
2. ExpressCard リーダーケースを固定するネジを取り付けます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) パームレスト
 - b) 右ベースパネル
 - c) オプティカルドライブ
 - d) キーボード
 - e) キーボードトリム
 - f) アクセスパネル
 - g) バッテリー
 - h) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

Bluetooth モジュールの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) キーボードトリム
 - e) キーボード
 - f) オプティカルドライブ
 - g) 右ベースパネル
 - h) パームレスト
3. Bluetooth ケーブルをシステム基板から外します。
4. Bluetooth モジュールを固定しているネジを外します。
5. Bluetooth モジュールをコンピュータから取り外します。
6. Bluetooth モジュールから Bluetooth ケーブルを外します。

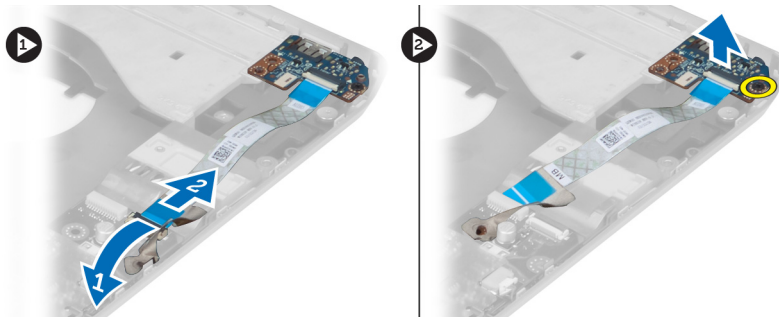


Bluetooth モジュールの取り付け

1. Bluetooth モジュールに Bluetooth ケーブルを接続します。
2. Bluetooth モジュールをコンピュータの所定のコンパートメント内に置きます。
3. Bluetooth モジュールをコンピュータに固定するネジを取り付けます。
4. Bluetooth ケーブルをシステム基板に接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) パームレスト
 - b) 右ベースパネル
 - c) オプティカルドライブ
 - d) キーボード
 - e) キーボードトリム
 - f) アクセスパネル
 - g) バッテリー
 - h) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

オーディオボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) キーボードトリム
 - e) キーボード
 - f) オプティカルドライブ
 - g) 右ベースパネル
 - h) パームレスト
 - i) Bluetooth モジュール
3. オーディオボードの平フレックスケーブルをシステム基板から外します。
4. オーディオボードを固定しているネジを外します。



5. オーディオボードをコンピュータから取り外します。

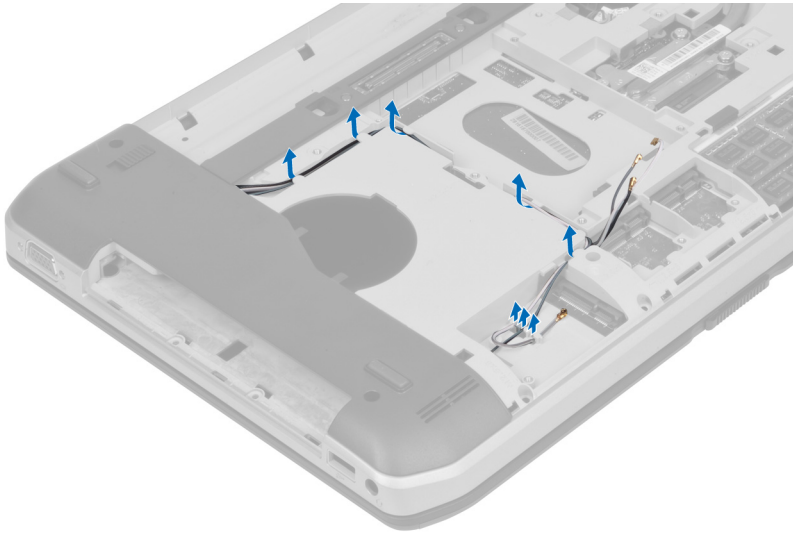
オーディオボードの取り付け

1. オーディオボードをコンピュータ内に置きます。
2. ネジを締めてオーディオボードをコンピュータに固定します。
3. オーディオボードケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) Bluetooth モジュール
 - b) パームレスト
 - c) 右ベースパネル
 - d) オプティカルドライブ
 - e) キーボード
 - f) キーボードトリム
 - g) アクセスパネル
 - h) バッテリー
 - i) ExpressCard
 - j) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

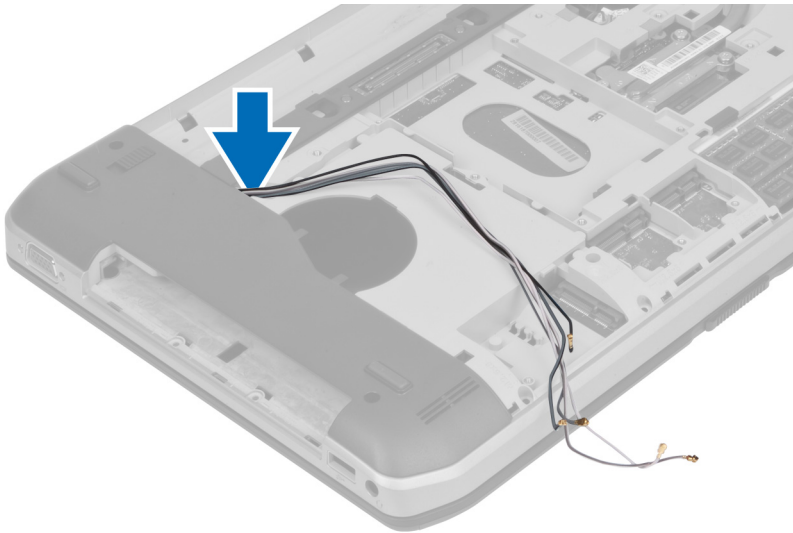
ディスプレイアセンブリの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) バッテリー
 - c) アクセスパネル
 - d) キーボードトリム
 - e) キーボード
 - f) オプティカルドライブ
 - g) ハードドライブ
 - h) 右ベースパネル
 - i) パームレスト

3. 配線チャンネルからすべてのアンテナを外します。



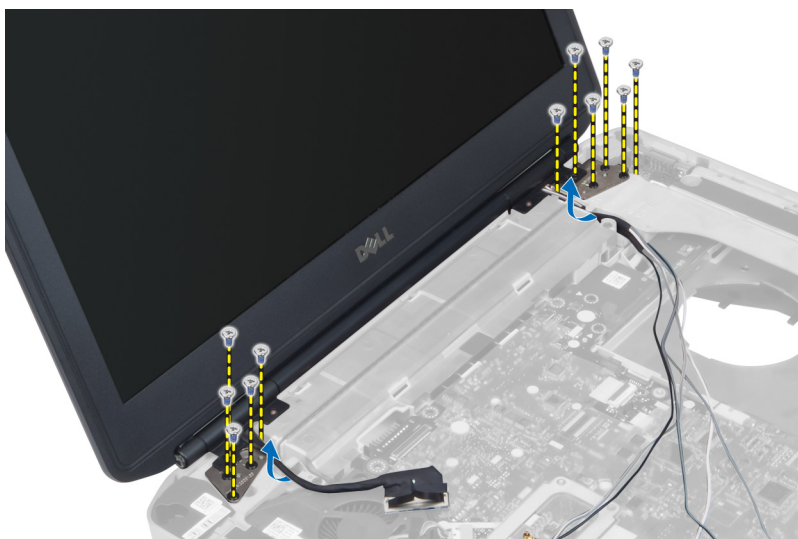
4. 低電圧差動信号 (LVDS) ケーブルを外します。



5. アンテナを開口部からコンピュータの上部まで通します。



6. ディスプレイアセンブリを固定しているネジを外します。



7. ディスプレイアセンブリをコンピュータから取り外します。

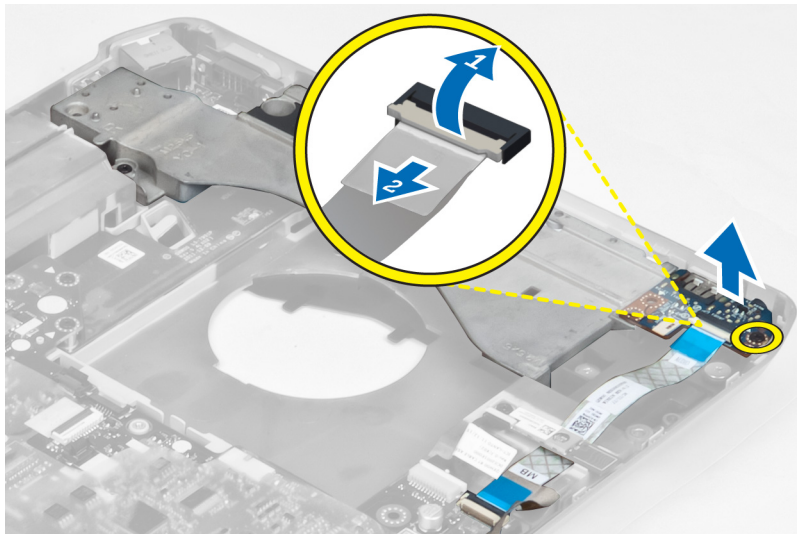
ディスプレイアセンブリの取り付け

1. ディスプレイアセンブリを所定の位置に固定するネジを取り付けます。
2. 低電圧差動信号 (LVDS) ケーブルとワイヤレスアンテナケーブルをシャーシの穴に通します。
3. LVDS ケーブルを所定のコンパートメントに配線し、コネクタをシステム基板に接続します。
4. アンテナケーブルを対応する各コネクタに接続します。

5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) パームレスト
 - b) 右ベースパネル
 - c) ハードドライブ
 - d) オプティカルドライブ
 - e) キーボード
 - f) キーボードトリム
 - g) アクセスパネル
 - h) バッテリー
 - i) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

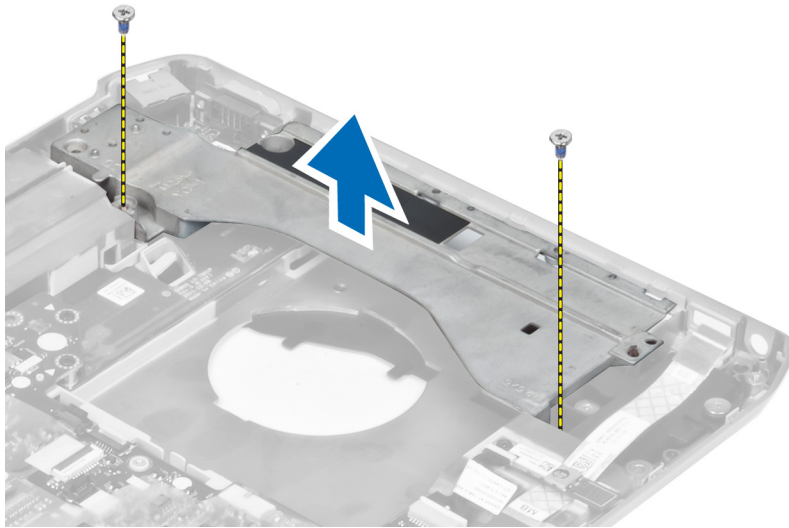
右サポートフレームの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ディスプレイアセンブリ
3. 右サポートフレームの底部にある平フレックスケーブルを外します。



4. 右サポートフレームをコンピュータに固定しているネジを外します。

5. 右サポートフレームを持ち上げてコンピュータから取り出します。

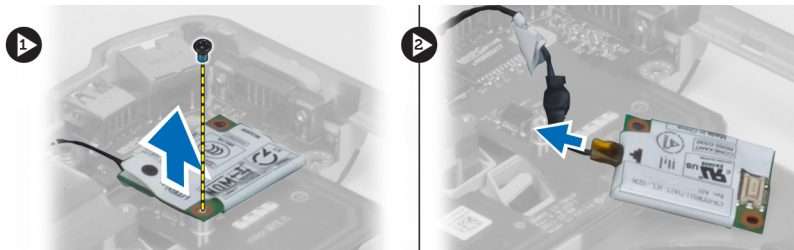


右サポートフレームの取り付け

1. 右サポートフレームをコンピュータの上に置きます。
2. 右サポートフレームをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 右サポートフレームの底部に平フレックスケーブルを接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ディスプレイアセンブリ
 - b) パームレスト
 - c) サーマルモジュール
 - d) 右ベースパネル
 - e) WLAN カード
 - f) ハードドライブ
 - g) オプティカルドライブ
 - h) キーボード
 - i) キーボードトリム
 - j) アクセスパネル
 - k) バッテリー
 - l) ExpressCard
 - m) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

モデムカードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) 右ベースパネル
 - j) サーマルモジュール
 - k) パームレスト
 - l) ExpressCard リーダーケース
 - m) ディスプレイアセンブリ
 - n) 右サポートフレーム
3. モデムカードをコンピュータに固定しているネジを外します。
4. モデムカードを持ち上げて、カード後部のコネクタから外します。
5. ネットワークコネクタケーブルをモデムカードから外します。
6. モデムカードを持ち上げてコンピュータから取り出します。



モデムカードの取り付け

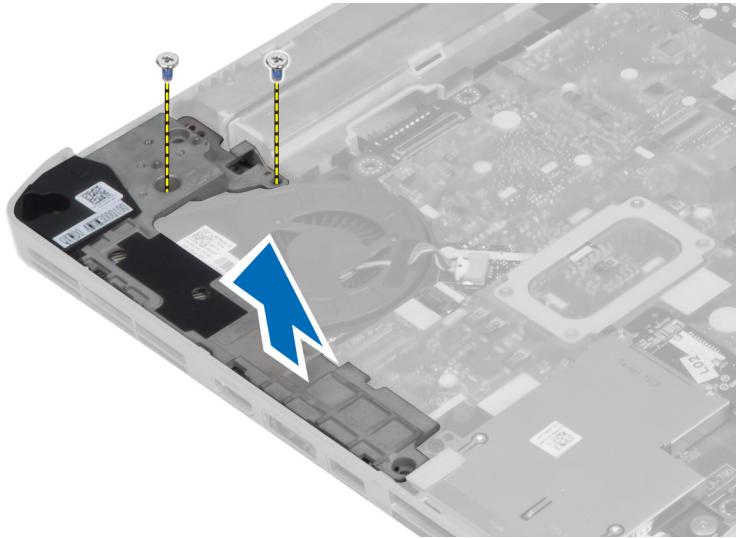
1. モデムカードをコンピュータ内の入力 / 出力 (I/O) ボードに載せます。
2. ネットワークコネクタケーブルをモデムカードに接続します。
3. モデムカードをコンピュータの背面にあるコネクタに差し込みます。
4. ネジを締めてモデムカードをコンピュータに固定します。

5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 右サポートフレーム
 - b) ディスプレイアセンブリ
 - c) ExpressCard リーダーケーシング
 - d) パームレスト
 - e) サーマルモジュール
 - f) 右ベースパネル
 - g) ハードドライブ
 - h) オプティカルドライブ
 - i) キーボード
 - j) キーボードトリム
 - k) アクセスパネル
 - l) バッテリー
 - m) ExpressCard
 - n) SD メモリカード
6. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

左サポートフレームの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ディスプレイアセンブリ
3. 左サポートフレームをコンピュータに固定しているネジを外します。

4. 左サポートフレームを持ち上げてコンピュータから取り出します。



左サポートフレームの取り付け

1. 左サポートフレームをコンピュータの上に置きます。
2. 左サポートフレームをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ディスプレイアセンブリ
 - b) パームレスト
 - c) サーマルモジュール
 - d) 右ベースパネル
 - e) WLAN カード
 - f) ハードドライブ
 - g) オプティカルドライブ
 - h) キーボード
 - i) キーボードトリム
 - j) アクセスパネル
 - k) バッテリー
 - l) ExpressCard
 - m) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

システム基板の取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) バッテリー
 - b) アクセスパネル
 - c) キーボードトリム
 - d) キーボード
 - e) オプティカルドライブ
 - f) ハードドライブ
 - g) WLAN カード
 - h) 右ベースパネル
 - i) サーマルモジュール
 - j) パームレスト
 - k) ExpressCard リーダーケージ
 - l) ディスプレイアセンブリ
 - m) 左サポートフレーム
3. 電源コネクタケーブルを外します。

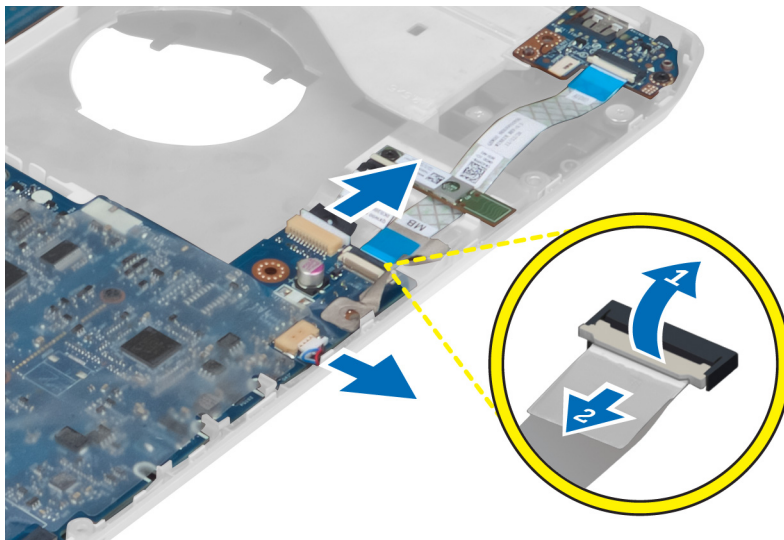


4. システムファンケーブルをシステム基板から外します。

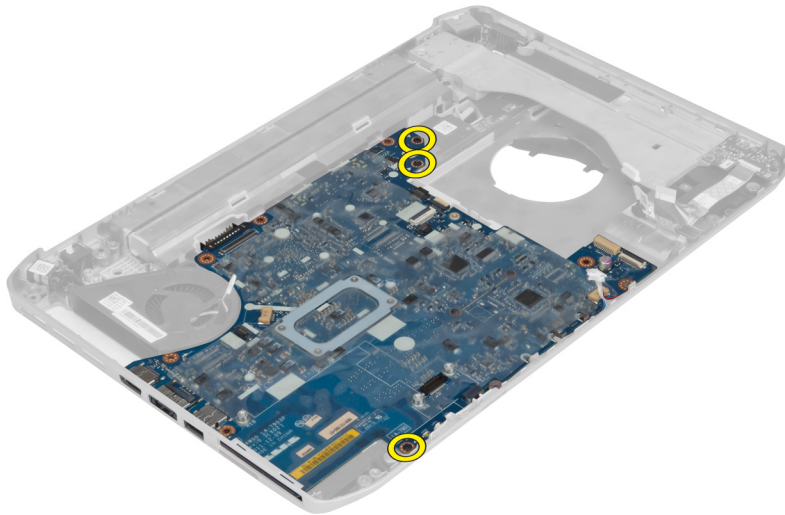


5. スピーカーケーブルをシステム基板から外します。
6. オーディオボードの平フレックスケーブルを外します。

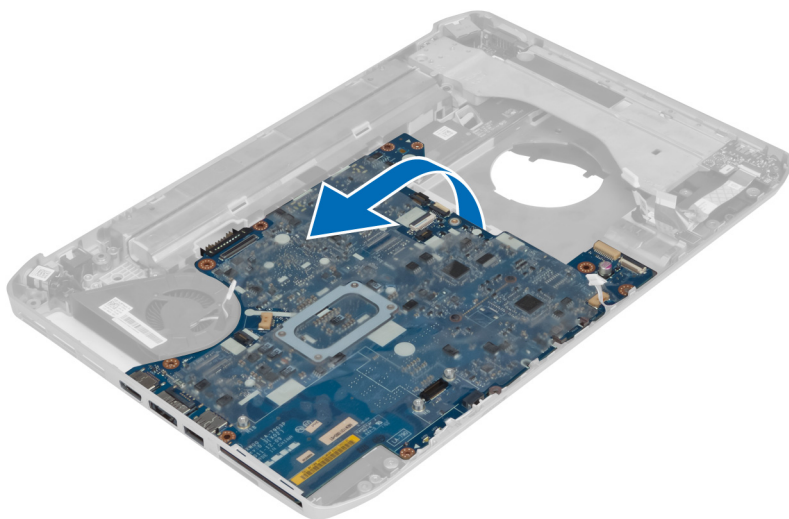
7. Bluetooth ケーブルを外します。



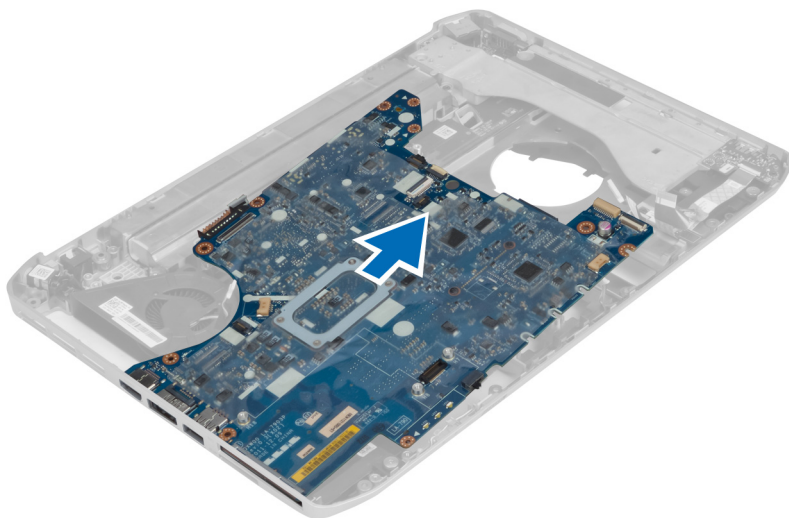
8. システム基板を固定しているネジを外します。



9. システム基板アセンブリの右端を 45 度の角度に持ち上げます。



10. システム基板を左側のポートコネクタから外し、システム基板を取り外します。



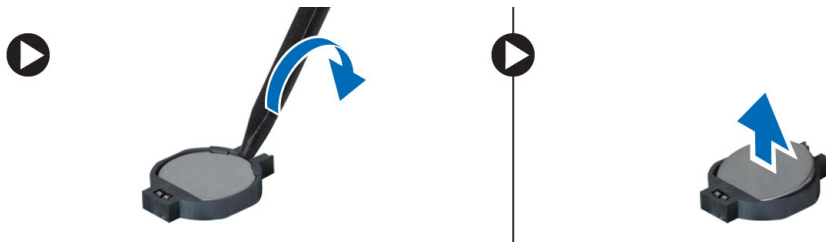
システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピュータの元の位置に合わせます。
2. システム基板をコンピュータに固定するネジを取り付けて締めます。
3. 以下のケーブルを配線しシステム基板に接続します。
 - a) オーディオボードの平フレックスケーブル
 - b) Bluetooth ケーブル
 - c) スピーカーケーブル
 - d) 電源コネクタケーブル
 - e) サーマルファンケーブル

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) 左サポートフレーム
 - b) ディスプレイアセンブリ
 - c) ExpressCard リーダーケージ
 - d) パームレスト
 - e) サーマルモジュール
 - f) 右ベースパネル
 - g) ハードドライブ
 - h) オプティカルドライブ
 - i) キーボード
 - j) キーボードトリム
 - k) アクセスパネル
 - l) バッテリー
 - m) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

コイン型バッテリーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) オプティカルドライブ
 - g) ハードドライブ
 - h) WLAN カード
 - i) 右ベースパネル
 - j) サーマルモジュール
 - k) パームレスト
 - l) ExpressCard リーダーケージ
 - m) ディスプレイアセンブリ
 - n) 左サポートフレーム
 - o) システム基板
3. コイン型バッテリーをシステム基板から外します。
4. コイン型バッテリーを粘着シールからはがして取り外します。



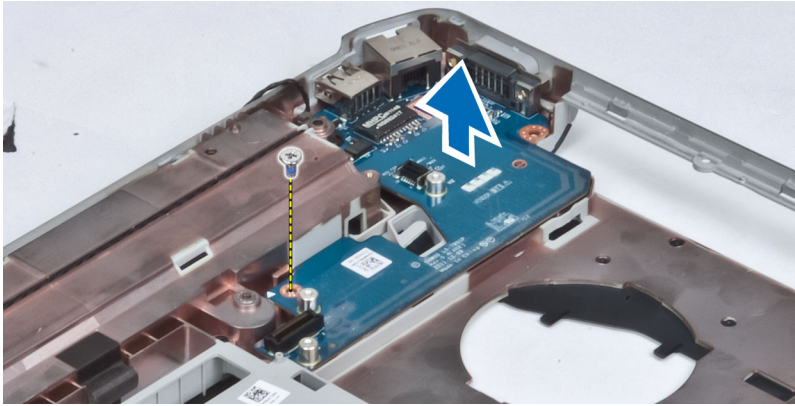
コイン型バッテリーの取り付け

1. 粘着剤が付いている側を下向きにしてコイン型バッテリーをシステム基板に載せます。
2. コイン型バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) 左サポートフレーム
 - c) ディスプレイアセンブリ
 - d) ExpressCard リーダーケーシング
 - e) パームレスト
 - f) サーマルモジュール
 - g) 右ベースパネル
 - h) WLAN カード
 - i) ハードドライブ
 - j) オプティカルドライブ
 - k) キーボード
 - l) キーボードトリム
 - m) アクセスパネル
 - n) バッテリー
 - o) ExpressCard
 - p) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

入力 / 出力 (I/O) ボードの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ExpressCard リーダーケーシング
 - n) ディスプレイアセンブリ
 - o) 右サポートフレーム
 - p) 左サポートフレーム
 - q) システム基板
3. 入力 / 出力 (I/O) ボードをコンピュータに固定しているネジを外します。

4. 入力 / 出力 (I/O) ボードを持ち上げてコンピュータから取り出します。

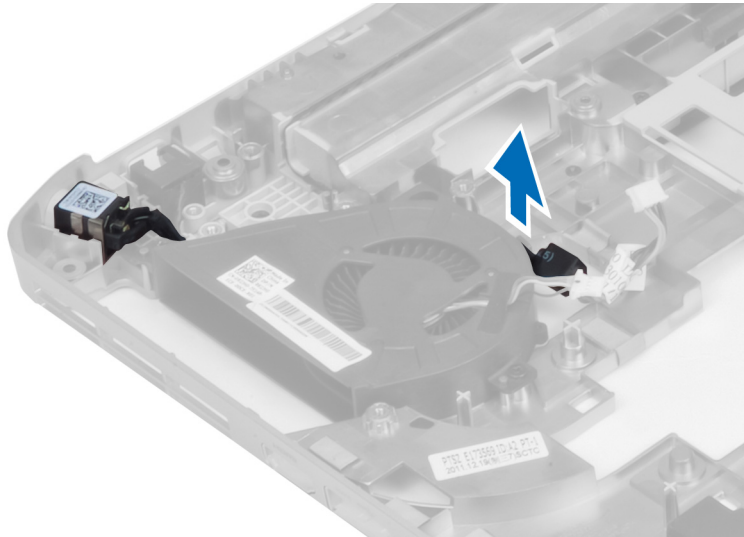


入力 / 出力 (I/O) ボードの取り付け

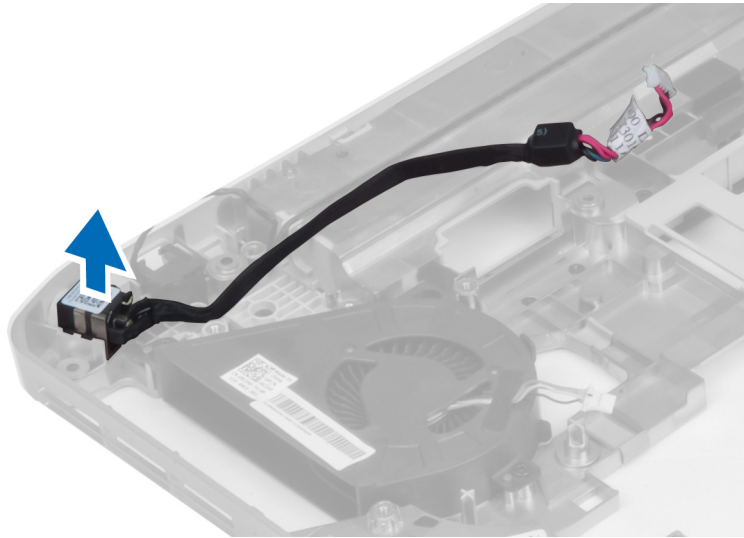
1. 入力 / 出力 (I/O) ボードをコンピュータ内に置きます。
2. 入力 / 出力 (I/O) ボードをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) 左サポートフレーム
 - c) 右サポートフレーム
 - d) ディスプレイアセンブリ
 - e) ExpressCard リーダーケース
 - f) パームレスト
 - g) サーマルモジュール
 - h) 右ベースパネル
 - i) WLAN カード
 - j) ハードドライブ
 - k) オプティカルドライブ
 - l) キーボード
 - m) キーボードトリム
 - n) アクセスパネル
 - o) バッテリー
 - p) ExpressCard
 - q) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

電源コネクタの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ExpressCard リーダーケース
 - n) ディスプレイアセンブリ
 - o) 左サポートブラケット
 - p) システム基板
3. 電源コネクタケーブルを配線チャンネルから外します。



4. 電源コネクタを外します。

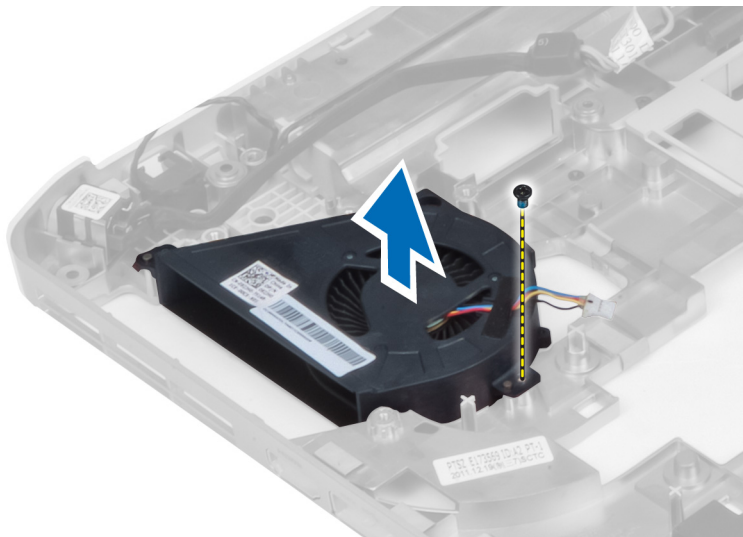


電源コネクタの取り付け

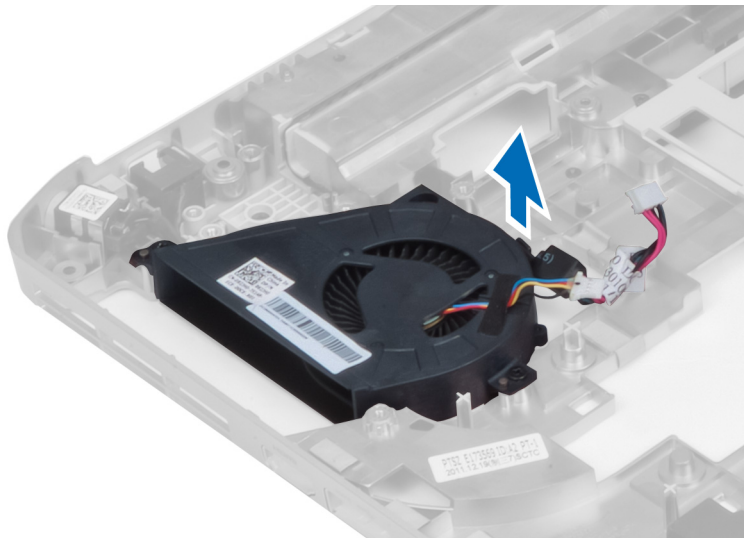
1. コンピュータに電源コネクタを取り付けます。
2. 電源コネクタを配線チャンネルに通します。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) 左サポートブラケット
 - c) ディスプレイアセンブリ
 - d) ExpressCard リーダーケージ
 - e) パームレスト
 - f) サーマルモジュール
 - g) 右ベースパネル
 - h) WLAN カード
 - i) ハードドライブ
 - j) オプティカルドライブ
 - k) キーボード
 - l) キーボードトリム
 - m) アクセスパネル
 - n) バッテリー
 - o) ExpressCard
 - p) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

システムファンの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ExpressCard リーダーケース
 - n) ディスプレイアセンブリ
 - o) 右サポートフレーム
 - p) 左サポートフレーム
 - q) モデムカード
 - r) システム基板
 - s) 電源コネクタ
 - t) ネットワークコネクタ
3. システムファンをコンピュータに固定しているネジを外します。



4. システムファンを持ち上げてコンピュータから取り出します。

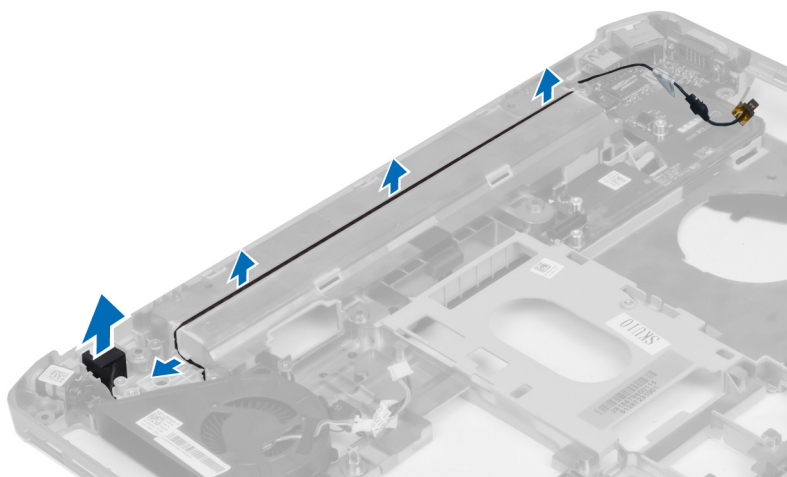


システムファンの取り付け

1. システムファンをコンピュータ内に置きます。
2. ファンをコンピュータに固定するネジを締めます。
3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) ネットワークコネクタ
 - b) 電源コネクタ
 - c) システム基板
 - d) モデムカード
 - e) 左サポートフレーム
 - f) 右サポートフレーム
 - g) ディスプレイアセンブリ
 - h) ExpressCard リーダーケーシング
 - i) パームレスト
 - j) サーマルモジュール
 - k) 右ベースパネル
 - l) WLAN カード
 - m) ハードドライブ
 - n) オプティカルドライブ
 - o) キーボード
 - p) キーボードトリム
 - q) アクセスパネル
 - r) バッテリー
 - s) ExpressCard
 - t) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

ネットワークコネクタの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ExpressCard リーダーケース
 - n) ディスプレイアセンブリ
 - o) 右サポートフレーム
 - p) 左サポートフレーム
 - q) モデムカード
 - r) システム基板
3. ネットワークコネクタケーブルを配線チャンネルから外します。
4. ネットワークコネクタを外します。



ネットワークコネクタの取り付け

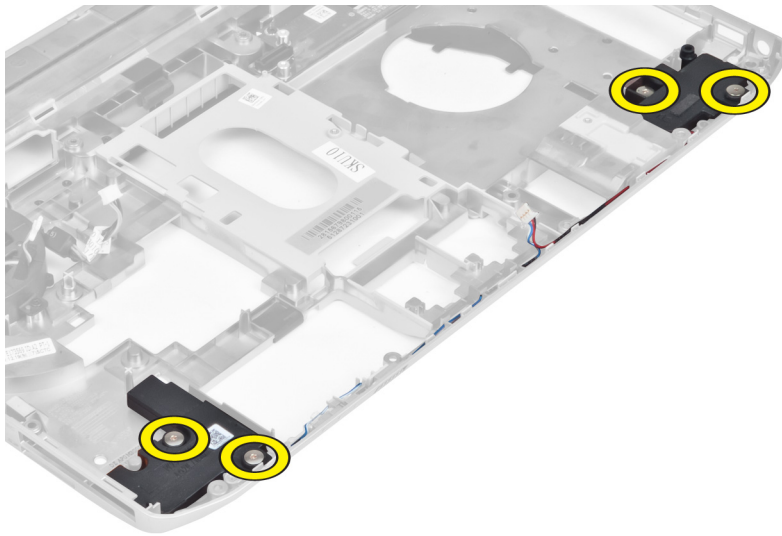
1. コンピュータにネットワークコネクタを取り付けます。
2. ネットワークコネクタケーブルを配線チャンネルに通します。

3. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) モデムカード
 - c) 左サポートフレーム
 - d) 右サポートフレーム
 - e) ディスプレイアセンブリ
 - f) ExpressCard リーダーケーシング
 - g) パームレスト
 - h) サーマルモジュール
 - i) 右ベースパネル
 - j) WLAN カード
 - k) ハードドライブ
 - l) オプティカルドライブ
 - m) キーボード
 - n) キーボードトリム
 - o) アクセスパネル
 - p) バッテリー
 - q) ExpressCard
 - r) SD メモリカード
4. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

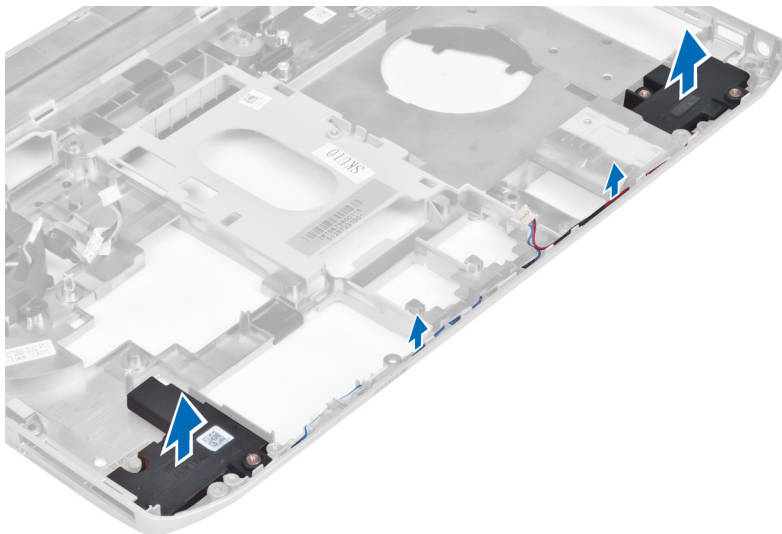
スピーカーの取り外し

1. 「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a) SD メモリカード
 - b) ExpressCard
 - c) バッテリー
 - d) アクセスパネル
 - e) キーボードトリム
 - f) キーボード
 - g) オプティカルドライブ
 - h) ハードドライブ
 - i) WLAN カード
 - j) 右ベースパネル
 - k) サーマルモジュール
 - l) パームレスト
 - m) ExpressCard リーダーケーシング
 - n) Bluetooth モジュール
 - o) オーディオボード
 - p) LCD アセンブリ
 - q) 左サポートフレーム
 - r) システム基板

3. ネジを外してスピーカーを外します。



4. スピーカーケーブルを配線チャンネルから外します。
5. スピーカーを持ち上げてコンピュータから取り外します。



スピーカーの取り付け

1. スピーカーをコンピュータ内に置きます。
2. ネジを締めてスピーカーをコンピュータに固定します。
3. スピーカーケーブルを接続し、配線チャンネル内に固定します。

4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a) システム基板
 - b) 左サポートフレーム
 - c) ディスプレイアセンブリ
 - d) オーディオボード
 - e) Bluetooth モジュール
 - f) ExpressCard リーダーケーシング
 - g) パームレスト
 - h) サーマルモジュール
 - i) 右ベースパネル
 - j) WLAN カード
 - k) ハードドライブ
 - l) オプティカルドライブ
 - m) キーボード
 - n) キーボードトリム
 - o) アクセスパネル
 - p) バッテリー
 - q) ExpressCard
 - r) SD メモリカード
5. 「コンピュータ内部の作業の後で」の手順に従います。

仕様

仕様



 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。お使いのコンピュータの構成の詳細については、[スタート]をクリックしてください。 (スタートアイコン) → ヘルプとサポート の順にクリックし、お使いのコンピュータに関する情報を表示するオプションを選択します。

表 1. システム情報

機能	仕様
チップセット	Intel HM77/QM77 Express チップセット
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	SPI 32 M ビット
PCIe Gen1 バス	100 MHz
外付けバスの周波数	DMI (5GT/s)

表 2. プロセッサ

機能	仕様
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> • Intel Celeron • Intel Core i3 シリーズ • Intel Core i5 シリーズ • Intel Core i7 シリーズ
L3 キャッシュ	最大 8MB

表 3. メモリ

機能	仕様
メモリコネクタ	SoDIMM スロット 2 個
メモリ容量	2 GB、4 GB、または 8 GB
メモリのタイプ	DDR3 SDRAM 1600
最小メモリ	2 GB
最大搭載メモリ	8 GB

表 4. オーディオ

機能	仕様
タイプ	4 チャンネルハイデフィニッションオーディオ
コントローラ	IDT92HD93
ステレオ変換	24 ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インタフェース :	
内蔵	ハイデフィニッションオーディオ
外付け	マイク入力 / ステレオヘッドフォン / 外付けスピーカーコネクタ
スピーカー	2 個
内蔵スピーカーアンプ	各チャンネル 1W (RMS)
ボリュームコントロール	キーボードファンクションキー、プログラムメニュー

表 5. ビデオ

機能	仕様
タイプ	システム基板内蔵
コントローラ	Intel HD グラフィックス

表 6. 通信

機能	仕様
ネットワークアダプタ	10/100/1000 Mb/s イーサネット (RJ-45)
ワイヤレス	内蔵ワイヤレス LAN (WLAN) およびワイヤレス広域エリアネットワーク (WWAN)

表 7. ポートとコネクタ

機能	仕様
オーディオ (オプション)	マイク / ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ 1 個
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> • 15 ピン VGA コネクタ 1 個 • 19 ピン HDMI コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ 1 個
USB 2.0	<ul style="list-style-type: none"> • 4 ピン USB 2.0 対応コネクタ 2 個
USB 3.0	<ul style="list-style-type: none"> • USB 3.0 対応コネクタ 1 個 • eSATA/USB 3.0 対応コネクタ 1 個
メモ리카ードリーダー	8-in-1 メモ리카ードリーダー 1 枚
ドッキングポート	1 個

機能	仕様
加入者識別モジュール (SIM) ポート	1 個

表 8. ディスプレイ

機能	仕様
タイプ	
Latitude E5430	<ul style="list-style-type: none"> • HD (1366x768)、WLED • HD+ (1600 x 900)
Latitude E5530	<ul style="list-style-type: none"> • HD (1366x768)、WLED • FHD (1920 x 1080)
サイズ	
Latitude E5430	14.0 インチ
Latitude E5530	15.6 インチ
寸法 :	
Latitude E5430:	
縦幅	192.5 mm (7.57 インチ)
横幅	324 mm (12.75 インチ)
対角線	355.60 mm (14.00 インチ)
有効領域 (X/Y)	309.40 mm x 173.95 mm
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 1366 x 768 ピクセル • 1600 x 900 ピクセル
最大輝度	200 ニット
Latitude E5530:	
縦幅	210 mm (8.26 インチ)
横幅	360 mm (14.17 インチ)
対角線	394.24 mm (15.60 インチ)
有効領域 (X/Y)	344.23 mm x 193.54 mm
最大解像度	<ul style="list-style-type: none"> • 1366 x 768 ピクセル • 1920 x 1080 ピクセル
最大輝度	HD が 220 ニット、FHD が 300 ニット
動作角度	0° (閉じた状態) ~ 135°
リフレッシュレート	60 Hz
最小視角 :	

機能	仕様
水平方向	<ul style="list-style-type: none"> HD が +/- 40° FHD が +/- 60°
垂直方向	<ul style="list-style-type: none"> HD が +10°/-30° FHD が +/-50°
ピクセルピッチ :	
Latitude E5430	0.2265 mm x 0.2265 mm
Latitude E5530	<ul style="list-style-type: none"> HD が 0.2520 mm x 0.2520 mm FHD が 0.1790 x 0.1790

表 9. キーボード

機能	仕様
キーの数	米国 : 86 キー、イギリス : 87 キー、ブラジル : 87 キー、日本 : 90 キー
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

表 10. タッチパッド

機能	仕様
動作領域 :	
X 軸	80.00 mm
Y 軸	45.00 mm

表 11. バッテリー

機能	仕様
タイプ	4 セル、6 セル、または 9 セル「スマート」リチウムイオン
寸法 :	
縦幅	
4 セル、6 セル、および 9 セル	20.00 mm (0.79 インチ)
横幅	
4 セルおよび 6 セル	208.00 mm (8.18 インチ)
9 セル	214.00 mm (8.43 インチ)
奥行き	
4 セルおよび 6 セル	48.08 mm (1.89 インチ)
9 セル	71.79 mm (2.83 インチ)


機能	仕様
重量	
4 セル	240.00 g (0.53 ポンド)
6 セル	344.73 g (0.76 ポンド)
9 セル	508.20 g (1.12 ポンド)
電圧	
4 セル	14.8 VDC
6 セルおよび9 セル	11.1 VDC
温度範囲：	
動作時	0 ~ 50 °C (32 ~ 122 °F)
非動作時	-40 ~ 85 °C (-40 ~ 185 °F)
	 メモ: バッテリーパックは、100 パーセント充電の状態を上記の保管温度に対応します。
	 メモ: また、パフォーマンスの低下を招くことなく、-20 ~ 60 °C の保管温度に対応します。
コイン型バッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー

表 12. AC アダプタ

機能	Latitude E5430	Latitude E5530
タイプ	65 W	90 W アダプタ
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.7 A	1.5 A
入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
出力電力	65 W	90 W
出力電流	3.34 A (連続稼働の場合)	4.62 A (連続稼働の場合)
定格出力電圧	19.5 +/- 1.0 VDC	19.5 +/- 1.0 VDC
温度範囲：		
動作時	0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)	0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)
非動作時	-40 ~ 70 °C (-40 ~ 158 °F)	-40 ~ 70 °C (-40 ~ 158 °F)

表 13. サイズと重量

サイズと重量	Latitude E5430	Latitude E5530
縦幅	29.9 ~ 32.5 mm (1.17 ~ 1.27 インチ)	30.20 ~ 33.2 mm (1.18 ~ 1.30 インチ)
横幅	350.00 mm (13.70 インチ)	388.00 mm (15.27 インチ)
奥行き	240.00 mm (9.44 インチ)	251.00 mm (9.88 インチ)

サイズと重量	Latitude E5430	Latitude E5530
重量	2.04 kg (4.50 ポンド)	2.38 kg (5.25 ポンド)

表 14. 環境

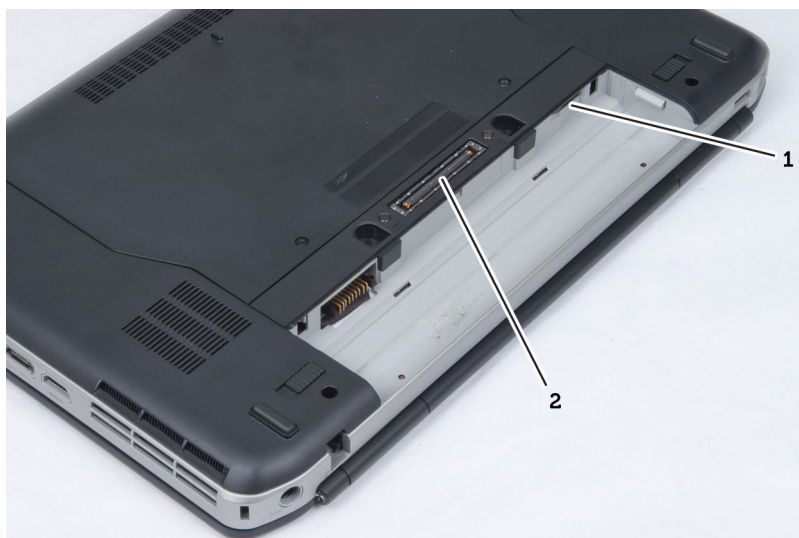
機能	仕様
温度：	
動作時	0 ~ 35 °C (32 ~ 95 °F)
保管時	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
相対湿度 (最大)：	
動作時	10 ~ 90 パーセント (結露しないこと)
保管時	5 ~ 95 パーセント (結露しないこと)
高度 (最大)：	
動作時	-15.24 ~ 3048 m (-50 ~ 10,000 フィート)
非動作時	-15.24 ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート)
空気中浮遊汚染物質レベル	G1 (ISA-71.04-1985 の定義による)

追加情報

このセクションにはお使いのコンピューターに含まれる追加機能についての情報が記載されています。

ドッキングポートについて

ドッキングポートは、ラップトップ PC をドッキングステーション（オプション）に接続するために使用します。




1. 加入者識別モジュール（SIM）ポート
2. ドッキングポート

セットアップユーティリティ


概要

セットアップユーティリティでは以下の操作が実行できます。

- お使いのコンピュータでハードウェアの追加、変更、または取り外しを行った後のシステム設定情報の変更
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションの設定または変更
- 現在のメモリ容量の確認や、取り付けられたハードディスクドライブの種類の設定

 **注意:** エキスパートのコンピューターユーザーでない限り、このプログラムの設定を変更しないでください。変更内容によっては、コンピューターが正しく動作しなくなる場合があります。

セットアップユーティリティの起動

1. コンピューターの電源を入れます（または再起動します）。
2. 青色の DELL のロゴが表示されたら、F2 のプロンプトが表示されるのを注意して待機してください。
3. F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
 -  **メモ:** F2 プロンプトはキーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトはすぐに消えるので、表示されるのを注意して待ち、<F2> を押してください。プロンプトが表示される前に <F2> を押した場合、キーストロークは無視されます。
4. キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

セットアップユーティリティのオプション


 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

表 15. 一般

オプション	説明
System Information	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • System Information (システム情報) : BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。 • Memory Information (メモリ情報) : Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory

オプション	説明
	Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー)、DIMM A Size (DIMM A のサイズ)、DIMM B Size (DIMM B のサイズ) が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Processor Information (プロセッサ情報) : Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。 Device Information (デバイス情報) : Primary Hard Drive (プライマリハードドライブ)、Fixed bay Device (固定ベイデバイス)、System eSATA Device (システム eSATA デバイス)、Dock eSATA Device (eSATA ドッキングデバイス)、LOM MAC Address (LOM MAC アドレス)、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、Modem Controller (モデムコントローラ)、Wi-Fi Device (Wi-Fi デバイス)、Cellular Device (携帯電話デバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。
Battery Information	バッテリー状態とコンピュータに接続されている AC アダプタのタイプが表示されます。
Boot Sequence	コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Diskette Drive (ディスクетドライブ) Internal HDD USB Storage Device (USB ストレージデバイス) CD/DVD/CD-RW Drive (CD/DVD/CD-RW ドライブ) Onboard NIC (オンボード NIC)
Boot List Option	起動リストオプションを変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Legacy (レガシー) UEFI
Date/Time	日付と時刻を変更することができます。

表 16. System Configuration (システム設定)

オプション	説明
Integrated NIC	統合ネットワークコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 有効 Enabled w/PXE (PXE 付で有効) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
System Management	システム管理機構を制御することができます。オプションは以下のとおりです。

オプション	説明
Parallel Port	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • ASF 2.0 • Alert Only (アラートのみ) <p> メモ: このアイテムは非 Vpro システム専用です。</p> <p>ドッキングステーションの平行ポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • AT: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • PS2 • ECP
Serial Port	<p>内蔵シリアルポートを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • COM1: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • COM2 • COM3 • COM4
SATA Operation	<p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • ATA • AHCI • RAID On (RAID オン) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Drives	<p>オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA-0 • SATA-1 • SATA-4 • SATA-5
SMART Reporting	<p>このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする)



オプション	説明
USB Controller	<p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリキー、フロッピー) から起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Boot Support (起動サポートを有効にする) • Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) <p> メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。</p>
Keyboard Illumination	<p>このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。キーボードの輝度レベルは 25 ~ 100 パーセントの間で設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Level is 25% (レベル 25%) • Level is 50% (レベル 50%) • レベル 75% • レベル 100%
Miscellaneous Devices	<p>以下のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable Internal Modem (内蔵モデムを有効にする) • Enable Microphone (マイクを有効にする) • Enable eSATA Ports (eSATA ポートを有効にする) • Enable Hard Drive Free Fall Protection (ハードドライブ落下保護を有効にする) • Enable Fixed Bay (固定ベイを有効にする) • Enable Express card (Express カードを有効にする) • Enable Camera (カメラを有効にする) <p> メモ: すべてのデバイスがデフォルトで有効に設定されています。メディアカードの有効 / 無効を切り替えることもできます。</p>

表 17. ビデオ

オプション	説明
LCD Brightness	<p>電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。</p>




 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

表 18. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	<p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p> メモ: システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、Admin パスワードを設定する必要があります。Admin パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
System Password	<p>システムパスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Internal HDD-0 Password	<p>システムの内蔵ハードディスクドライブを設定または変更することができます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p>
Strong Password	<p>強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。</p> <p> メモ: Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、Admin パスワードとシステムパスワードに大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字使い、8 文字以上の長さにしなければなりません。</p>
Password Configuration	<p>Administrator パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。</p>
Password Bypass	<p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • Reboot bypass (再起動のスキップ) <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p>
Password Change	<p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する) は選択されていない</p>
Non-Admin Setup Changes	<p>Administrator パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは Admin パスワードによってロックされます。</p>



オプション	説明
TPM Security	POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。 デフォルト設定：オプションは無効に設定されています。
Computrace	オプションである Computrace ソフトウェアを起動または無効にすることができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • Deactivate (非アクティブ化) • 無効 • Activate (アクティブ化)  メモ: Activate (起動) および Disable (無効) オプションでは、機能を永久的に起動または無効にします。その後の変更はできません。 デフォルト設定：Deactivate (非アクティブ)
CPU XD Support	プロセッサの Execute Disable (実行無効) モードを有効にすることができます。 デフォルト設定：Enable CPU XD Support (CPU XD サポートを有効にする)
OROM Keyboard Access	起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration (オプション ROM 設定) 画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効 • One Time Enable (1 回のみ有効) • 無効 デフォルト設定：Enable (有効)
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。 Default Setting (デフォルト設定)：Enable Admin Setup Lockout (Admin セットアップロックアウトを有効にする) は選択されていません。

表 19. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	このフィールドでは、プロセッサで有効になるコアの数 (1 個または全部) を指定します。アプリケーションによっては、コアを追加することで性能が向上します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチコアサポートの有効 / 無効を切り替えることができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて • 1 • 2 デフォルト設定：All (すべて)
Intel® SpeedStep™	Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)

オプション	説明
C States Control	追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：オプションの C ステートは有効です。
Intel® TurboBoost™	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enable Intel TurboBoost（Intel TurboBoost を有効にする）
Hyper-Thread Control	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Enabled（有効）

表 20. 電源管理

オプション	説明
AC Behavior	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Wake on AC（ウェイクオン AC）は選択されていません。
Auto On Time	コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> 無効 Every Day（毎日） Weekdays（平日） Select Days（選択した日） デフォルト設定：Disabled（無効）
USB Wake Support	USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。 <p> メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモードで AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートへの電力供給を停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポートを有効にする） デフォルト設定: Enable USB Wake Support（USB ウェイクサポート）は選択されていません。
Wireless Radio Control	物理的な接続に頼ることなく、ネットワークを有線または無線に自動的に切り替える機能を有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> Control WLAN Radio（WLAN 無線のコントロール） Control WWAN Radio（WWAN 無線のコントロール） デフォルト設定：Control WLAN radio（WLAN 無線のコントロール）または Control WWAN radio（WWAN 無線のコントロール）のどちらも選択されていません。
Wake on LAN/WLAN	LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。


オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) : このオプションでデフォルトで有効に設定されています。 • LAN Only (LAN のみ) • WLAN Only (WLAN のみ) • LAN or WLAN (LAN または WLAN)
Block Sleep	<p>このオプションでは、OS の環境でスリープ (S3 ステート) に入ることを防ぐことができます。</p> <p>Block Sleep (S3 state) (ブロックスリープ (S3 ステート)) - このオプションはデフォルトで無効に設定されています。POST</p>
Primary Battery Configuration	<p>バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Standard Charge (標準充電) • Express Charge (高速充電) • Predominately AC use (主に AC 使用) • Auto Charge (自動充電) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • Custom Charge (カスタム充電) <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p> メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合があります。</p>
Battery Slice Configuration	<p>バッテリー充電のタイプを選択することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Standard Charge (標準充電) • Express Charge (高速充電) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 <p> メモ: 高速充電は一部のバッテリーでは使用できない場合があります。</p>

表 21. POST Behavior

オプション	説明
Adapter Warnings	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)</p>
Keypad	<p>内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fn Key Only (Fn キーのみ) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • By Numlock (Numlock を使用)

オプション	説明
Mouse/Touchpad	<p>マウスとタッチパッドからの入力をシステムがどう処理するかを定義することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Serial Mouse (シリアルマウス) • PS2 Mouse (PS2 マウス) • Touchpad/PS-2 Mouse (タッチパッド /PS-2 マウス) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
Numlock Enable	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Network (ネットワークを有効にする)</p>
Fn Key Emulation	<p><Scroll Lock> キーを使用して、<Fn> キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Fn Key Emulation (Fn キーエミュレーションを有効にする)</p>
POST HotKeys	<p>サインオン画面のメッセージ表示を有効にすることができます。このメッセージには、セットアップユーティリティのオプションメニューにアクセスするキーストロークシーケンスが示されます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable F12 Boot Option Menu (F12 起動オプションメニューを有効にする)</p>

表 22. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	<p>Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization Technology を有効にする)</p>
VT for Direct I/O	<p>ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。</p> <p>Enable VT for Direct I/O (直接 I/O 用の仮想化テクノロジーを有効にする) – このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p>
Trusted Execution	<p>このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および VT for Direct I/O (直接 I/O 用の仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。</p> <p>Trusted Execution – デフォルトで無効に設定されています。</p>

表 23. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Switch	<p>ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WWAN • WLAN

オプション	説明
Wireless Device Enable	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> WWAN WLAN Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

表 24. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	お使いのコンピューターのサービスタグが表示されます。
Asset Tag	アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。

表 25. システムログ





オプション	説明
BIOS Events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

診断

コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

Diagnostics (診断)

表 26. デバイスステータスライト

	コンピューターに電源を入れると点灯し、コンピューターが省電力モードの場合は点滅します。
	コンピューターによるデータの読み書きの際に点灯します。
	点灯または点滅によって、バッテリーの充電状態を示します。
	ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。

コンピューターがコンセントに接続されている場合、バッテリーライトは次のように動作します。

表 27. バッテリーステータスライト

黄色と青色が交互に点滅	認証またはサポートされていない、デル以外の AC アダプタがラップトップに接続されている。
黄色が短く、青色が長く交互に点滅	AC アダプタに接続されており、一時的なバッテリーの不具合が発生した。
黄色が連続的に点滅	AC アダプタに接続されており、バッテリーに重大な障害が発生した。
消灯	AC アダプタに接続されており、バッテリーがフル充電モードになっている。
白色の点灯	AC アダプタに接続されており、バッテリーが充電モードになっている。

キーボード上部のライトが示す意味は、以下のとおりです。

表 28. キーボードステータスライト



テンキーパッドが有効になると点灯します。




Caps Lock 機能が有効になると点灯します。



Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある 国 / 地域の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。